京城日報

十九日夕刊

○講和條件漏洩事件
米國大統領秘書官の講和條件漏洩事件は十八日迄調査會の開會を延期せり（紐育電報）

○英軍北佛戰線に勝つ
ヘーグ將軍の十七日夜發表の公報に曰く、今朝我軍は激烈なる砲擊の後ボークール、スール、アンクル北方の敵の戰線を占領し其の目標物は全部之を獲得せり其の間六百ヤードに達せり我軍の死傷者は極めて少なし此の方面に於ける我觀測は著しく改善し我砲兵は午後敵の逆襲を破り多少の損害を與へ目下我陣地を固めつゝあり我軍はランス附近に於て同樣なる強襲を行ひ完全なる成功を得たり我軍は十六日遲く猛烈なる砲擊掩護の下にカロンニ南方及びランス西方の獨軍陣地に入れり（紐育電報）

○英軍事內閣連日會議
數日來英國軍事內閣は日々重要なる會議を開き居りてニヴエル、ヘーグ兩將軍も之に參列せり（倫敦電報）

○露紙幣十億留發行
露國政府は十億留の紙幣を發行せり（紐育電報）

○露國陸軍大臣後任
陸軍大將ビエリアエフ氏は陸軍大將シエイエフ氏の後を襲ひて陸軍大臣に任命せられたり（露都電報）

○岑春煊來朝
南方派首領岑春煊氏森山海軍少將等は十八日上海發渡日の途に就けり（上海電報）

○宣統帝留學建議
宣統帝外國留學建議案黎總統の手許に提出せられたり（北京電報）

○藤田組變更
藤田組組織變更の計畫あり資本金を五千萬乃至一億圓となし門戶開放すとて調査中なり（大阪特電）

○立花中將動靜
立花第十九師團長は國境守備隊巡視の爲め十八日夜新義州着鐵道ホテルに投じ十九日朝發義州に赴き同地守備隊を巡視し二十日新義州守備隊を觀察の上二十一日朝出發歸任の豫定なり（安東縣特電）

○司法官會同（第二日）
臨時司法官會同第二日は前日に引き續き十九日午前九時三十分より總督府第二會議室に開會、各法院長官は素より長谷川總督山縣政務總監以下各部長官局長關係各課長等參列直ちに日程に入り午前午後に亙りて所管事項の報告を爲し午後三時三十分閉會したり

○各道學務主任會同
總督府にては二月廿六日より三月三日迄總督府會議室に於て各道學務主任を召集し宇佐美內務部長官統裁の下に學事に關する打合會を催すべし

○司法官轉補
十八日附を以て左の通辭令ありたり

朝鮮總督府檢事 向井巖
同 判事 金宅鈫
依願免本官

京城地方法院檢事正 松寺竹雄
補平壤覆審法院檢事長
三級俸下賜

釜山地方法院檢事正 郷津友彌
補京城地方法院檢事正
陞叙高等官二等四級俸下賜

大邱地方法院檢事正 大村大代
補釜山地方法院檢事正

大邱覆審法院檢事 杉村逸樓
補大邱地方法院檢事正
三級俸下賜

大邱地方法院檢事 村上淸
補大邱覆審法院檢事
四級俸下賜

京城地方法院仁川支廳檢事 長尾戒三
補大邱地方法院檢事
四級俸下賜

京城地方法院檢事 平山正祥
補京城地方法院仁川支廳檢事
七級俸下賜

○寺內伯に記念品 全道民間有志醵出
寺內前總督が首相の印綬を帶びて昨秋朝鮮を去るや伯在鮮中の功勞に酬ゆる爲め在京城民間有志の發起にて朝鮮全道の民間側より醵金して伯に記念品を贈呈するの計畫は客臘來著々進捗して既に京城を始め新義州、全州、平壤、公州、大田、淸津、元山、春川、群山、釜山、仁川、木浦、晋州、淸州、咸興、海州、義州、馬山、光州、大邱、鎭南浦其他の地方より發起人を擧げ來りたるより京城側發起人に於て之を取纏め愈々醵金募集に著手し趣意及び計畫の內容を新聞に廣告しつゝあるが、醵出金額は一人二圓以上五圓以下とし、醵金取扱期は二月二十五日までとし、各地方の醵金は其地方の發起人にて取纏むべきも便宜上直接に送金の場合は、京城商業會議所原田金之祐氏宛のこととし記念品の選定及び贈呈方法は京城側發起人に一任の事と定められたり該計畫の各地に通知せらるゝや逸早くも咸興方面よりは三百餘圓を原田氏宛て送金し來れる由にて其後淸津府よりも八十餘圓の送金あり他に個人として直接送金せる向も二三あり、締切までには多額の醵金を見る豫定なりと

○內田子通過期
新任駐露大使內田康哉氏一行夫人令孃書記官從者等七名は來る三十一日夜著連絡船にて著釜直に鮮滿直通列車に投じ二月一日朝南大門通過任地に向ふ由其筋に通報ありたり
▲東京出發期 駐露大使內田康哉氏は夫人令孃同伴靑木三等書記を從へ二十日午前八時半東京驛發進任の途に上り京都桃山御陵參拜の上奈良縣なる夫人の實家に立ち寄り二十五日頃下の關出發朝鮮經由露都に赴く由（東京特電）

○立花師團長出發
平壤步兵第七十七聯隊を檢閱したる立花師團長は十八日午後三時平壤發列車にて新義州に向ひたるが驛頭には市川旅團長野島聯隊長其他各將校滿鐵事務長福田副官齋藤署長篠田一部長等多數の見送りありたり（平壤）

○總裁一行旅程 滿洲巡歷中の美濃部朝鮮銀行總裁一行は十九日旅順より大連に出で官民有力者を招待披露宴を張り二十日大連出發撫順に向ふ豫定なりしが都合により撫順行きを中止し營口に向ひ同地の視察を遂ぐる事となれり尙ほ營口視察後の日程は前報と差なし

新平壤覆審法院檢事長 松寺竹雄氏

新京城地方法院檢事正 郷津友彌氏

○新暗礁の發見 朝鮮東海岸咸南端川沖に於て海圖になき暗礁を發見したる旨十九日公表されしが位置は掛島より北西距離四鏈にして該暗礁の經緯度は北緯四十度二十七分東經百二十八度五九分にして水深は低潮時約十八呎なりと

○舊正前の市況 舊正月前の京城市況に付內地人側市中銀行家の談を聞くに最近鮮人向き諸商品に於て若干商動きの活氣を見れど市中の金融は新春以來回收の大勢を改めず殆んど見るべき新規貸出しなし從つて金利も一向引締らず槪して閑散にて殆んど平日と大差なき狀態にありと

○商業會議所總會 京城商業會議所にては既記の如く二十日午前十一時より總會を開き大正六年度歲入出豫算に就て議事を開く可しと

○新龍山信用組合成績 新龍山信用組合は同町內の石原磯次郎氏其他有志發起となり大正四年八月御大典記念事業として朝鮮に於ける嚆矢の事業を開始し組合員の勤儉貯金並に資金運用の機關となしたるが會員相互の努力により昨年一月一日より十二月末日迄の間に於て總收入三十一萬七千二百八十八圓四十七錢にして總支出二十九萬八千九百五十六圓五十一錢にして本年度に於ける一日の取扱最高金額收入に於て七千七百五十八圓支出に於て八千八十二圓なりと

○中學入校試驗 各地中學校にては例年の通り左記の日割を以て各校別に入學試驗を執行す、而は入學志願者にして萬一京城中學の試驗に失敗するも更に平壤釜山の二校に於て再試驗に應せしむるの便を圖れるものとす
▲京城中學校 本年の募集生徒數は約百五十名にて願書は二月十五日より二十八日までに提出す可く三月五六七の三日間同校內に於て入學試驗を行ふ、試驗科目は國語、算術、日本歷史、地理、圖畫の五科なり
▲釜山中學校 募集數は約百名にて入學希望者は二月二十五日より三月十三日までに提出す可く三月十五六七の三日間入學試驗を執行す試驗科目は京城中學に同じ
▲平壤中學校 生徒の募集數は約百名にて二月二十五日より三月十三日までに願書を差し出す可く試驗執行日及び入學試驗科目とも總て釜山中學校と同じ
▲大田中學校 明年度豫算にして議會通過の上は匆々新設を見る可く四月上旬入學試驗を行ふ筈なり
▲平壤女子高普募生 平壤女子高等普通學校にては本年四月に入學せしむべき本科第一學年生徒五十名技藝科一學年生五十名を募集し居れり

▲敎育研究會雜誌部會 朝鮮敎育研究會にては十九日午後三時より同會發行の研究會雜誌編輯の件につき學務局に相談會を開きたり

○明大の小宮氏送別會 明治大學校友會にては今回前李王職次官小宮三保松氏歸東に付二十日午後四時より京城ホテルに於て送別會を開催す校友にして出席希望者は京城ホテルに申込まる可しと

▲足立十八店長入院 足立十八銀行京城支店長は痔疾治療の爲め數日前より安東病院に入院中なり

◎仁川 ▲高女生徒募集 仁川公立高等女學校にては來る四月入學せしむ可き第一學年生徒約五十名第二三學年生徒若干名を募集する由なるが入學志願者は三月二十二日までに入學願書履歷書に學業操行證明書並に所見表を添附の上同校に提出すべし入學試驗並に體格檢査は二十四日午前十時より施行す可きを以て半紙筆墨其他用意し第二第三學年入學志願者は右筆墨類の外白木綿五尺及び裁縫用具を持參し仁川府以外の志願者は試驗施行當日には父兄同道來校す可し因に入學願書用紙履歷書樣式所見表用紙は京龍仁各小學校に配布し在るも郵券二錢封入申込む時は直ちに送付すべし▲和田書記長上京 仁川商議書記長和田友太郎氏は朝鮮燐寸會社創立事務所の用件を帶び十九日午前十時上京鎭南浦西崎鶴太郎氏と會見の上同日歸仁の筈▲光石敎諭陞敘 仁川公立高等女學校敎諭光石紀氏は一月十三日附を以て高等官八等に敘せられたり▲村津取引所長視察 關東都督府取引所長村津寬氏は十九日來仁商業會議所及び穀物協會等に於て仁川に於ける米穀取引狀況を視察の上檢查所に於て米穀檢査狀況に付き視察したり

◎平壤 ▲獸疫の發生 平安北道雲山郡委延面宙下洞に一月十五日鵞口瘡に罹りたる牛六頭を發見し當局に於ては其れ〳〵豫防消毒を勵行中なるが同地は五年二月頃該病流行したるが其病毒死滅せずして再發したるものならんと▲警務長の上京 平安南道警務部長瀧元次郎氏は警務部長會議列席の爲め二十一日[illegible]を隨へ出京山本旅館に投宿の筈▲平南醫療機關 平安南道に於ける開業醫は一六限地開業地五鮮人三八外國人五公醫一二產婆內地人二七同限地開業五警察醫二檢疫醫一なりと▲平南物產陳列場 平安南道物產陳列場は明治四十三年の開設にかゝり爾後七箇年に及べるが年々陳列品の增加と一面鮮人智能の向上するにともなひ觀覽者も漸時增加し來りたるが今既往十年間の來觀者を見るに總計一一三〇七八人にして內地人九二〇人鮮人一一三七〇三人外國人一元五人なるが五年度中の總參觀人員は四三四六九人にして四年度の二三一五六人に比し二〇三一三人の增加を示せり▲東拓出張所長赴任 新任東拓平壤出張所長吉植庄造氏は一月十七日午後三時平壤驛著列車にて赴任し十八日前出張所長西島新造と事務引繼ぎを了したり▲技術審查部員の來壤 陸軍省技術審查部工兵中佐宮原國雄氏外四名は平壤附近の結氷中に於ける土壤及び河川狀況調査の爲め本月二十日來壤の筈なり

◎元山 ▲北鮮歌留多大會 元山每日新聞社の主催になれる北鮮歌留多大會は來る二十八日の日曜日を期し正午より元山大芳樓大廣間に於て開かるゝ筈なるが來會競技希望者は會費五十錢を添へ來る廿六日までに申込まるべしと▲元山降雪四尺 元山地方は十七日午後四時三十分より翌十八日午前七時に亙り降り續きたる雪は其の量四尺に達し雪後寒氣殊の外酷烈なり▲北鮮圍碁大會 元山圍碁天狗俱樂部發起の下に來る二十日二十一日の兩日を卜し元山大芳樓廣間に於て北鮮圍碁大會開催の由▲元山船溜埋築 元山丸芳樓前より八千代橋前に至る間の小入江即ち現在春日町の船溜りは衛生上市民をして不安の念を抱かしむる事久しく既に大築港の經營せられ居る今日最早斯る船溜り存置の必要を認めざるよりかた〳〵市の體裁を保つ上に於て早晩問題となるべく豫想されつゝありしが去る十六日を以て商業會議所樓上に開かれたる元山町內組合總代會にて決議の結果卽時石川、敷濱、本岡、佐藤、古賀の五名を委員として選出し愈之れが埋築の實行を豫策するに至たれり今其の設計內容を聞くに現在の船溜り區域は之れを其筋に對し元山町內組合より無償下附を請ひ埋立工事を施したる後現在の小道路を廢し龜屋商店前より三角地を[illegible]し之れより一直線に丸吉回漕店橫に至る通路を通じ更に該道路に沿ひ幅四間の排水溝を並行せしめ以て完全なる新宅地を形成すると共に約五千圓の純益金は擧げて將來神社改築の基金たらしむべしと

◎大田 ▲大田小校就學生數 公立大田小學校現在籍生は五百餘名にして本年卒業生は高等科男女生二十八名補習科生八名にして當校より中學入學志望者は約三十名なりと云ふ然して來る四月新學期より入學兒童數は百二十名の見込にして亦た大田幼稚園の本春より入園兒童は約五十名なりと▲大田電氣近況 大田電氣株式會社の昨年末現在の點燈數は二千六百廿二燈にして一昨大正四年末に比し七百餘燈の增加にして營業成績良好なりと云ふべく因に同社にては來る廿五日臨時總會を開き監查役任期滿了及び取締役補缺選擧を行ふ筈▲叺莚組合認可申請 豫て計畫中なりし大田叺莚改良組合設置に關し去十五日組合設立認可を當局に申請したり▲小校寒稽古 大田小學校にては十八日より向ふ十五日間尋常四年以上男女生を每朝七時同校に集合せしめ體操及び驅足を二十分間宛課し尙ほ武德館入門生は前六時より擊劍柔道を練習し兒童の勇氣を鼓舞し體質の强壯を圖り居れり▲兩縣人會 山口縣人會は曙亭及び東北人會は富士家に於て二十日夜孰れも盛なる新年宴を催すべし

◎群山 ▲廳員招宴 天野府尹は十五日午後七時より群山府廳員二十餘名を花月に招待し新年宴を催せり▲十分演說會 群山青年有志より成る十分演說會は十三日午後七時より群山日本基督敎會堂に於て開催出演者は佐藤、津阪、渡邊、三木、山城外數氏にて頗る盛況を極めたり▲西濱埋築工程 群山商業會議所經營に係る群山港西濱埋築工事は既報の如く客年十一月初旬より起工し埋築用材の採取地其他の支障に因り工程捗々しからざりしが既に三分の一以上工事の進捗を見たるも是に認可を得たる客年十二月中に完成する能はざりしを以て來る三月三十一日迄延期請願中の處最近其認可の指令に接したりと▲繩叺檢查勵行 群山米穀檢查所に於ては本道製產繩叺の進步發達せる現狀に鑑み左記の標準に據り來る二十五日より移出米包裝繩叺の檢查を勵行すべしと一、繩叺量目七百匁以上品質は本道改良組合生產丸合品と同等以上と認むるもの二、繩一尋の重量十一匁以上にして品質優良と認むるもの三、荷造橫繩四箇所結縱繩二箇所結とし何れも二筋掛け緊縛するものなり

◎光州 ▲同志講紛擾落著 既報の光州賴母子同志講內の紛擾沙汰は其後志水檢事及び鈴木署長の寬嚴宜しきに適へる取調と整理斡旋の諭示に基き總代松田占野西田の三氏は寢食を排して日夜熱心なる整理を爲したるため十六日一段落を告げ滯りなく解決せり▲光陽海苔の枯死 本道光陽沿海に於る海苔は夙に品質優良と價格低廉とを以て南鮮の各市場に名あり隨つて逐年產額を增大しつゝありしが本年は昨年末より近年稀なる寒氣の爲め粗朶に附著せる儘枯死し潮と共に押流されたるより道當局にては目下善後策を講じつゝあるも本年は激減を免れざるべしと▲本道棉花昂騰 十七日大阪ミドリング相場昂騰の入電あり本道棉花は卽時一圓五十錢の高値を見返したり▲警務部長上京 浦野本道警務部長は同部長會議出席の爲め廿日上京すべしと▲林技師歸任 事務打合の爲め本府に出頭中なりし本道林水產技師は十七日歸任せり

◎濟州島 濟州島は客臘二十日以降天候不良にして陸地との交通杜絕し貨物停滯を告げしも商況は佳良にて其後新春に入り天候の恢復と共に滯貨の大部分を疎通するに至れり去れど歲末の爲め歲末共に金融緩漫にて新事業起らず納稅期に際會したるも市場に大なる影響を與へざるが如きは一面に於て農民の囊中涸渇し居らざる證左とも云ふべく同地唯一の金融機關たる農工銀行の如きも十二月末帳尻は貸出金に減退を示し回收に增加を告げ一般金利も一二厘の引緩みを見たりと云ふ

◎釜山 ▲商議役員會 釜山商業會議所は二十日午後一時より役員會を開き大正六年度歲入出豫算編成の爲め協議を爲すべしと▲學校組合歲入出 釜山學校組合大正六年度歲入出豫算は其筋へ提出認可申請を爲したるが本年度の豫算總額は十四萬五千餘圓にして本年度の新事業は第六尋常小學校新築と商業專修學校增築の二件なりと▲傳染病院敷地入札 釜山大新里に移轉すべき府立傳染病院敷地地均し工事競爭入札は十八日府廳に於て執行したるに三千六百九十圓にて原田才一郎に落札したるが該地均し工事は來る三月中に竣工の豫定なるが新病院は患者約八十名を收容し得べき設計にて移轉及び增築は本年內に完了せしむる筈なるが敷地は三千坪にして工費豫算は合計二萬五千圓なりと

人事消息
▲小河市之丞氏（咸南道警務部長） 十九日朝入京山本旅館へ
▲神田長平氏（忠南道警務部長） 同上
▲前田昇氏（慶南道警務部長） 十九日夜入京龍尾へ投宿の筈
▲服部米次郎氏（慶北道警務部長） 同上
▲吉田幸三郎氏（京城憲兵隊副官） 十九日午前長湍より歸任
▲栖本木浦府尹 十九日午前出發歸任
▲岡泳鉛氏（男爵） 十九日午前沃川へ
▲生田淸三郎氏（水產課長） 二十日朝南大門驛著列車にて歸任の筈
▲吉留國氏（會計課勤務） 秋山參事官に隨伴此の程東上

●道長官が繩屑拾つて

自分で利用厚生のお手本

李圭完氏の一日三厘主義の實行

江原道長官李圭完氏は江原道にゐること十二年暇さへあれば草鞋がけで山村水廓を跋跡して足跡道内に普く道民もよく氏に懐いてゐるが氏のやり口は一寸一風變つてゐる何でも利用厚生を口だけで言つてるのは詰らぬといふ主義で先づ少しの土地も開拓利用しなければならぬといふので自家の土地を自ら先に立つて家族人夫をひきつれ石拾ひから始め出し拾つた石は大小に區別して一定の場所に積立て其開拓した處には

◆苗木を植付けて置く

と云ふやうな鹽梅でダン／＼道つて往く内に八年ばかりの内に三四町歩の耕地をこしらへたそれからその石の利用に頭を捻つた結果池を掘つて其石垣に利用しやうと考へた春川は人も知る山の中であるから魚類が高いこれは畢竟魚類が少ないからであるから是非共養魚の必要があると思つたのが此池を掘ることになつたのであるそして

◆百姓の隙な時期を

見計らつて相當の賃金を與へて自分の掘り出した石で自ら監督の任に當つたので百姓は喜び工事は捗取つて忽ちの間に出來上り加之工費も普通なれば五六百圓も其以上も要するであらうと思はれるが僅かに百五六十圓で出來上つたので皆驚いたそれから麻で絲を作り其絲で網を編んで

◆日曜などに川に出

掛けて漁つた雜魚を全部其池に放つて置いたのが今では約一萬二千尾以上に達し而かも五寸から六寸位になつて居るのもあつて一尾五錢位に見積つても其利益は相當にある此が一つの模範と成つて江原道には近來養魚が非常に流行して來た又た巡視の時など途中に乘てゝある

◆破鞋だの繩片だの

と云ふものを必ず拾つて袋に入れた腰に下げたりして持つて歸る之れは農業には肥料が大切で之を充分使用するには相當の費用がなくてはならぬ此の人の棄てた廢物を拾ひ置くと其肥料に代用すべき立派なものが出來る個人として

江原道長官李圭完氏

◆年數百圓の利益を

得又百姓には道長官多年の實行が漸く注意を惹起して長官があんなになさるのは自分達が遊んで居つてどうなるか仰程に一足でも決して無意味に乘てゝしまつてはならぬと云ふやうになつて來た内地の軍人で春川に駐在して居つた某下士は長官の此實行法に見習つて

◆滿期後水原に來て

水原市中の破鞋や牛の糞などを拾ひ集め初めは皆の者から笑はれたが今では非常に評判になつて居ると云ふ尤も中には長官を無學文官だからあんな詰らない事をすると云ふものもあるけれど此等は長官とつては意に關せない處で長官は笑ひながら世の中に若し學者とか物識りばかり增加した日には議論や

◆理窟ばかり多く

て國家は遂に亡びねばならぬ予は人が何と云はふが予は予の進む處に向つて猛進するばかりだと言つて居る

▲針仕事から

それから今年から是非道内に實行させる積りで長官は各郡に訓令を出したさうだがそれは第一朝鮮婦人に

▽内地の針の　使用法を敎へることで先づ郡守や郡書記の如き官吏の妻女並に道郡參事の如き公職にある者の妻女から初めさせることだ二は一般の婦人は唯家に引籠つて居る風があるから皆亭主の手傳をなし百姓は野に商人は店頭に出て働かす風習に向はしめる方針である第一の内地の針の使用を一般

女同士の親睦

▽婦人に奬勵　しやうと思ひ出したかと云ふに赤十字の方はさうでもないが愛國婦人會の方は少しも實蹟が擧らない道郡には内鮮官吏の妻女が居るけれども一年に一度か二度會でもある時分に出て來る丈でどうしても互に親密にならぬ何とかして之を親密にして婦人會の實蹟を擧げたいがと彼れ此れ數年に亙つて考へ出したのが此の内地針の使用法である

▽朝鮮婦人と　内地婦人との針を使用するのに時間上必要の差等のあることに氣付いた内地婦人なら二時間で立派に仕上げるものも朝鮮婦人は最も上手と名のある人で五六時間はかゝる其原因に就て調べて見ると針の使ひ方が全然異つて居る而して其異つて居るのは内地針は長く朝鮮の針は短いので自然使用方が異つて

▽其風を成して　來たことに氣付いたから試みに或る婦人は之を講習をさせて見た處が内地婦人と同樣に全く短時間で仕上げ得るやうになつたそれで長官は之を各郡の朝鮮官吏の妻女を内地人官吏の妻女の處に通つて日に一時間で三十分でも針の使用法を習ふことにさせたいと計畫したので斯くする内には自然言語も覺へるし親密にもなつて來て

▽愛國婦人會　の事業の如きも期せずして之が實積を擧げ得るに至るばかりでなく時間の經濟が非常なものである朝鮮の婦人も今後は大に働かせねばならぬそれには今から其準備が必要で現今の有樣では婦女子は野仕事の爲めに其日其日を送られて居ると云つても過言でない人は針の樣な餘りに少さいことをと云ふて色々と理窟を云ふ人もあるけれども長官は之を

▽實行に照し　てどれ丈の効果が上るかを見たいと思て居るらしい均しくて道内一般のものが眞面目になつて勤勉努力するやうになれば假りに江原道に百萬の人があるとして之が一日に三厘丈今迄より多く働くものとしても一月に九萬圓年に百八萬圓の富が增加するではなからうかとほつて朴々たる容姿に自信のある笑を湛へてゐた

●長春より北へ　耐寒行軍

改良されし防寒具實地試驗の爲め

我が陸軍に於ては從來防寒具に不備の點多かりしが愈々客臘公主嶺守備隊司令部に於て被服本廠より特派されたる委員に依りて完全に改良されたれば之れが實地試驗をなすべく過般同守備隊は獨立守備隊、騎馬隊は公主嶺騎兵第二十一聯隊の一部兵員を以て三百餘名の耐寒行軍部隊を編成する事となり幸十六日正午著貨車にて歩兵長春に到著し騎兵約四十名は十六日朝公主嶺發同日午後三時長春に到著何れも兵員は當地守備隊に宿泊し軍馬を守備隊と憲兵隊とに分宿せしめ同夜行軍準備を爲し十七日朝行軍部隊は范家屯中隊長相原大尉之れを指揮し郭田大尉長及び防寒被服試驗委員隨行し農安方面に向つて出發せり而して同隊は一週間の豫定を以て農安廻道より懷德に迂廻して歸隊すべし(長春)

◆雪の牡丹臺へ

平壤附近の大降雪

一月十七日朝より十八日に亙り西鮮一體に大降雪あり平壤附近に於ても積雪尺餘に及び市街は一面の銀世界に化したるが比較的高温にして十八日朝氷點下十一度三分を示したり軍隊及學校にありては雪中の教練及び體操をなし又文人墨客の牡丹臺へ雪見物に杖を曳く者も多く見受けたり(平壤)

◎尊き記念の御座所

永久に保存せん

昨秋大演習の際　大元帥陛下大本營を臨時縣廳内に置かせ給ひ知事室及び應接室を以て御座所に當られたる過般宮内省より特に大本營御座所に當られたる御室及び此等に用ゐたる御料材は悉く福岡縣廳に下附相成りたるを以て同廳にては此尊き記念なる御座所を永久保存する事に就き□知事佐竹内務部長は種々協議を凝したる結果該御料材を以て大演習記念館の建設をなすべきこと最善の保存法なりとし三條技師に命じて此が設計の任に當らしめたるが右記念館建設地は大本營を置かせられたる福岡縣廳舍正門の西側空地を以て此に當つる事とし全部御殿風の日本館にて内部は十疊の御座所と此に隣接したる七疊半の御脱衣所の二室にて三方は襖を以て繞らし後方のみ硝子窓とし廻廊下にて建具器具調度等全部大演習當時御使用のものを以て此に當て建築經費は大演習の際總經費一萬餘圓殘存せるを以て其内四千圓を以て此に當つべく設計完成の上は一旦先づ縣參事會の意見を求めたる上入札に附し其上にて建築に著手する由なるが完成の上は縣廳正門監視人をして嚴重監視の任に當らしむる筈(門司)

●渡り歩く大賊

長崎縣南松浦郡岐宿村生れ住所不定松屋明助(三五)は昨年三月頃より釜山鎭海清津大連安東縣と所々を流れ歩きたる末一月二日平壤に來り市中を徘徊中平壤署の寺田刑事に取押へられ爾後取調中の處昨年十二月十七日より二十日迄の間に安東縣大和橋通花園旅館に前後六回忍び入り旅客の御召羽織及び高貴織羽織外十四點價格三百餘圓の衣物を窃取し贓品を安東縣三番通椿井質店外二戸に七十圓にて入質し三番通筑紫屋の遊女に悉く入揚げ一仕事せんと平壤に來りたるものと判明したるが同人は清津にても同一の犯罪多くある事を發見し目下同署に於て引續き取調べ中なり(平壤)

●軍事探偵か獨探か

高壓電氣を引込み無線電信の交換

神戸元居留地米國貿易會社にて通信事務を扱へる中山手通二丁目安藤靜の長男日英人の混血兒フキール(三三)が自宅に高壓電氣を引込み無線電信機を架設し御影附近の外人と暗號電信を交換せる爲め軍事探偵か獨探かとの嫌疑にて十八日來神戸署にて嚴問取調べ中なり(大阪特電)

◎雪の鷄龍山へ

寒中行軍

歩兵第七十九聯隊第一大隊の公州及大田に駐屯する各中隊將校九名下士卒百四十名は雪中行軍を爲すべく本月二十三日同時に兩地を出發し鷄山甲寺に落合ひ同地に露營を爲し二十四日雪の鷄龍山を踏破し同山の元寺に於て晝食をなし同夜論山に出て舍營をし二十五日乾坪里を經て扶餘に到り露營を爲し二十六日利仁を經て公州に歸り大田隊は二十七日孔岩里を經て歸營の筈(公州)

◎南山天滿宮境

内空家に縊死

南山公園天滿宮境内元茶店の空家内に十九日午後零時四十分頃内地人若者が縊死し居るを本町署倭城臺交番の巡査發見し本町警察署より見上巡査部長加賀美警察醫出張檢視せしが此男は住所不定大分縣北海部郡大在村生れの洋服職工岩田鐵(二三)といひ身には

▲莫大小の襯衣　の上に紡績飛白の袷及び木綿縞盲目縞の羽織を著し居り黑足袋に麻裏草履を穿き黑の兵兒帶を以て縊死を遂げ居れり多分十八日夜右の空家に忍び込み内より戸を閉して覺悟の自殺をなしたるものならんが屍體は堅く凍りゐたり遺留品としては手帳一冊、質札二枚吸ひ殘りの卷煙草あるのみなるが件の手帳中に鉛筆の走り書きにて所持金及び衣類等全部費ひ果し生きてゐる甲斐なきを以て自殺をなす旨記載あり同人は昨年冬頃迄

▲壽町某洋服店　に雇はれゐたりしが以前より梅毒に罹りゐたる

◎殺人事件公判

慶尙南道蔚山郡甚陽面金鮮喜(二七)及び鄭子金泰順(三九)の兩人共謀して廿年以前近隣の金喜雲なる男と姦通し駈け落ちしたる妻李登川(五五)を撲殺したる殺人被告事件の公判は十八日釜山地方法院に於て開廷したるが登山の夫鮮喜は姦通の事實を認めざるのみか釜山

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

△一口噺『其時々の事に就て』

◎與樣『獨逸の潛航艇が印度洋に現はれたとするとキツト綿が騰るよ』下女『綿よりも黑砂糖が騰りは致しますまいか』(一等)　龍岩浦　信子

▲軍艦筑波沈沒の記事を見た與太保險會社は『大した損害だらう』　龍山　香天公

▲讀者『此頃はよく方々で大火事があるネー』與太『それで多少暖かくなるかな』　龍山　美芳生

▲甲『撫順の大山坑が大爆發した相だ』乙『大山公に殉死したのだらう』　鎭南浦　大黒生

▲鎭海に雪が降つたと聞いた沒常識者『さぞ寒い雪が降つたろう』　京城　○○生

◎江原道

山村の水攻め

江原道は昨年末より一月初旬に亙り近年稀なる寒氣の爲め水無き村落にては河水氷結のため使用水は勿論飲料水も缺乏し平昌郡邑内の湯屋は使用水無きため三日間も休業せり又一朗郡畑地は旱の結果麥の根枯死せるもの多く本年の麥作は不良なるが如し通川郡臨南面地方は本月三日頃一積三尺に達し交通杜絶し同面千佛洞附近は用水及び木炭の供給に頗る困難を來しつゝありと

◎僧侶を毆打して

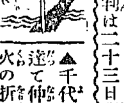
佛像を奪ふ

忠南公州郡雞龍面下大里金明學事金春學(三五)は金戸準、李德辰と共謀し明治四十五年四月二十九日夜各棍棒を携へ居村面甲寺獅子庵に侵入し同庵僧侶數名を毆打したる上佛壇の上にありたる木造金箔塗阿彌陀佛一體を奪ひたる爲め遂に捕へられ公州地方法院にて懲役十年の宣告を受けたるを不服とし此程京城覆審法院に控訴したるも取下げ服罪したり

◎風浪を冒して入港

對馬丸定期に釜山出帆

十八日朝下關發連絡船對馬丸は風波を冒し辛うじて十九日午前一時釜山著同六時半定期に釜山を出帆せり(釜山特電)



▲千代本の女將は先達て仲居部屋から出火の折納病氣で臥てゐたが火事だと聞いて何所の家が燒けるのだらうと思つてる矢先自家の二階から火が出てると聞いてうろ／＼した次第は其當時灯し頃子が紹介しておいたが▲其うろ／＼が事實相違だとあつて強硬なる抗議を無佛社長に宛てゝ申込んで來た其の供述によると其時女將は些と驕がず五尺幾寸の巨軀を梯子段の下に泰然と構へ込んで者共を指揮し天晴れ女振りを發揮したさうで危くすると灯し頃子が名譽毀損の訴訟でも起されさうだから茲に訂正しておく▲其女將が火事見舞に貰つた數々の書畫をある宴席に持ち出すと一見極めて詰らぬ起上り小法師の畫が美濃部銀總裁の目に留まつた▲そこで女將も初めて其價値を發見して寄贈の主の無佛居士に誰の畫贊かを確めると『勿體なくも善智識白隱和尚の贊だ』との答へ▲そこ迄は無難だつたが其れ以來女將は其畫を懇意な人が來ると出して見せるがつい此間も金谷府尹が矢張り見せられて誰の作だと問ふと女將言下に無佛居士の作だとの答▲そこで府尹が無佛居士に會つたとき早速『貴下は繪が中々お上手ですないやお手並は疾くに拜見しました』と出られて無佛居士しばらく呆然無言。

今般内地人民間有志相謀り曩に内閣總理大臣の印綬を帶びて朝鮮を去られたる前總督寺内伯爵へ記念品贈呈致度候に付同志の各位は左記事項御承知の上御贊同被成下度得貴意候敬具

一、醵出金ハ一人二圓以上五圓以下トス
一、締切期限二月二十五日
一、御送金ハ京城商業會議所原田金之祐宛ノコト
一、記念品ノ撰定及贈呈方法ハ發起人ニ一任セラレタキコト

大正六年一月十八日

京城發起人（イロハ順）

石塚英藏　原田金之祐　萩谷籌夫　白完爀　西村道彦　子爵 趙重應　趙鎭泰　伯爵 李完用

岡正矣　金谷充　韓相龍　高野省三　子爵 宋秉畯　中村再造　山口太兵衞　大和與次郎

馬詰次男　牧山耕藏　古城菅堂　阿部充家　三島太郎　執行猪太郎

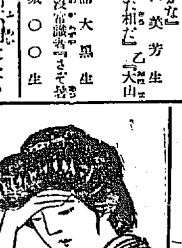
腦病良藥　レーベン

醫學博士岡田先生を初め陸海軍醫並に醫學諸大家が有効證明を有する本劑は腦の營養素たる「リンサン」を多量に有せる良劑にして日本人の體質に適合すべき絶好の良劑なり、腦病神經衰弱、ヒステリー患者は論より證據、最終の試藥として直ちに試よ

定價　三十五錢、五十錢、八十五錢、一圓六十錢、三圓、五圓六十錢　各地信用ある藥店にありなくば本舖へ

發行所　東京市京橋區弓町廿二　弘濟藥院　中南定太郎

支舖　大阪市東區安土町堺筋　弘濟藥院　中南定太郎



資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百六拾五萬圓

株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取　佐々木勇之助

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

ータカヂアスターゼー

高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり

類似模造品を本劑と同一強度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ

本劑は粉末及錠劑の二種あり

本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらる殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す

東京室町　三共株式會社

●不屆極まる女　兵庫縣生れ……附せられ居たるが一月九日午後七時……五丁目杉正……妻よし(三)は家庭不和……

●連絡船上陸客　十七日午後九……二等客……一等九名……堀内智三郎、同梅子、同四郎丸……

讀者文藝課題及募集規定

▲募集規程　同形の洋紙一枚毎……▲用紙は端書又は紙上の雅號又は……

天氣　曇少雪後晴

朝鮮の舊正月

行事のいろ〳〵

◆數年 前新暦を本位とするやうに暦が改正されてから正月の如きも一般に新暦を用ゐる方がよいといふ説もあるやうだけれども數百年來の舊習は急に改められぬものと見え官公衙や會社銀行などの如き處は儀式を新暦に改めて來たやうだが一般の家庭には矢張り舊習に從つてゐる處が多い、新暦に改めてしまうなどは中々困難なことらしい。

◆然し 新暦で濟ました方が經濟で取引なども尤も都合がよいと云ふ觀念が、一般に普及して來つゝあることは事實であるから、延ひて一般の家庭に及ぼすことになるであらう今年も舊暦の正月が目睫の間に迫つて東南兩市場の如きは勿論、鍾路なども大分正月の氣分に成つたやうだから左に朝鮮正月の行事を極簡單に紹介して見やう。

◆正月 一日は、元日、元朝、正朝又は三元など〻云つて、昔は議政大臣は百官を率ひて、新年問安の爲めに參内して、箋文表裏と云ふものを奉り八道の方伯や閫帥州牧等の地方官は箋文方物を獻じ、國王は御製の勸農綸旨を、八道の觀察使と、四都と云つて、開城、江華、水原、春川の留守に下賜されたものだ。

◆元日 から三日までを『三日罷朝市』と云つて、承政院其他内外衙門は政を執らず、公廨の家は、通門を許さず、廛舗は撤閉休業したものだ、金磐岩と云ふ詩人は、之に就て『朱門賓刺留三日。翠勺屠蘇趁少年』と云ふ詩を作つて居る。

◆各司 の官員や、各兵營の校卒は名刺又は楷紙に姓名を列記したものを、官員及び先生の家に奉呈するのを、各家の門内には鬈盤と云ふものを置いて之を受くる、之を『歳銜』と云つて居つた、現今元日に名刺の交換をしたり、名刺交換會を催したり、遠隔の地に居る人に、賀状を送るのと能く似て居つた。

◆元朝 には、士族以下庶民に至るまで『茶禮』と稱して、家廟に於て、先祖の祭をする。又『歳庇禮』と云つて、男女老幼とも、新らしき衣裳を著けて、父老姻親其他隣里の尊長を歴訪して、元朝の祝辭を述べる、之を歳拜客と云つて受くる方では、酒肉を備へて御馳走をするのである。

◆朝鮮 には、屠蘇と云ふ言葉はあるけれども、其實之を使用して居ないが、記録や俗説には屠蘇に就ての話が色々ある、東醫寶鑑と云ふ醫學の本に、屠蘇の作り方が出て居るが、白朮、大黄、桔梗、川椒、桂心、虎杖根、川烏等の草根木皮を各々加減調合して嚢に入れ、除夕の日から井戸に沈めて置いて、元日の早曉に之を引上げて、二瓶の清酒に入れ之を沸かして、東に向つて、小供から老人と一杯づゝ飲んで、其滓は井戸に入れて、其れを飲めば、年中病氣に罹らぬと書いてある(つゞく)

小豆粥の由來

一月十五日の小豆粥は七日の七草粥と共に古く行はれる習慣で昔から是を食べると惡疫にかゝらぬとか蒜虫に刺されないと云ふ其由來に就いては種々に傳へられてゐる始つた年代なども判然と分つて居ませぬが古くから傳へられて居る説には今でも東海道の伊豆地方に殘つて居る左義長と云ふ農家の儀式がその起りだとも云はれて居る事でして左義長と云ふのはお正月の松飾りや竹を山の様に積みあげて燃やし四方に注を立てゝしめを張りこれに野菜の造り物を下げて餅や太鼓で囃したて農民が五穀成就を祈る儀式で小豆粥を此時に食べるのですこの習慣が一般に行はれる様になつたのだと云ひます

髪飾り

派手やかになつた流行品

近頃の髪飾りを見ますと、櫛、笄でも束髪用の飾りピンでも夫れに應用した細工や彫刻の色合が、一般に派手やかになつて來ましたが、殊に

◆日本髪 の髪飾りに於いて一層其傾向が甚しいやうです。華やかになつた一例として、從來は東京花柳界の婦人にしか用ゐられなかつた五色の花櫛や、摘みの平打等が若い娘さん達に歡迎され、高島田の花簪など素晴らしい勢で賣れて居ます。專門家の談に依ると、數年前迄は

◆一般に 澁い高尚な好みで、大抵蒔繪か龜甲位の處でしたが、此頃では、模樣にしても梅の花は、薔薇、秋草は牡丹と云ふやうに華やかに、華やかにと移り、形なども大分大きくなつて來ました。而して

◆今迄の 櫛形では面白くないと云ふので、四角な元祿型や、鳩の翔び下りる姿そのまゝを、櫛の形に考案するやうな、非常に凝つた注文をする御客が殖ゑて來て、髪飾り一つに數百金を惜しまぬと云ふ贅澤な傾向が見えて來ました。斯うした傾きはやがて

◆今春の 流行品にも現はれて上等品の中には隨分目先きの變つた新しい試みのものが出來て參りました。二三を擧げて見ると、簪は何れも華やかな白龜甲へ珊瑚や紫貝を鏤めたもの、異珠、金剛石を應用した散らし細工などで

◆中でも 桃花石で彫刻した簪は、薄桃色の美しい石を、櫻や菊の花模樣に細工した若い令孃向のものであります。それから龜甲の斑を應用して、月と櫻の優婉な模樣を現したそれに

◆金銀の 縁を取つたもの、櫛形の變つた峰へ白甲のまゝ、彫刻をして珊瑚を處々へ利かしたもの等は若い奥樣方に極上向きで、年増の御方ですと、矢張り白龜甲の臺へ品よく異珠を配らつて

◆澁味を 利かしたものや、金の透し彫りにダイヤか異珠を極く小粒に散らしたのなどが上品向きである。極澁い粋向きですと紫水晶の根挿し等もありますが、素人向きには如何かと思はれます。

◉市中一時暗黑となる 京城電氣株式會社にては十八日午後八時頃より發電所に故障の爲めに電車及び電燈共約十分間停電し市中は一時暗黑となれり

◉司令官と酒肴料 舊臘秋山軍司令官來公に際し官民有志は將軍の旅情を慰むべく清宴を張りたる事は既報の通なるが其に對し今般將軍より酒肴料として金員を寄贈し來りたるが官民有志は之を小學校の運動具費と公州救濟院孤兒の被服費とに分配する事とせり(公州)

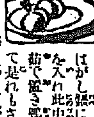
◉舊年末と警戒 京城鍾路警察署にては舊年末に際し管内警戒の爲め本月十七日より非番巡査全部を以て每夜偵邏せしめ居れり

◉連絡船と郵便物 十八日夜釜山に入港すべき連絡船缺航せるに就き從つて内地郵便物は十九日夜二回分を配達すべし

◉猩紅熱 京城蛤洞居住スタンダード石油會社員宇野鐵二氏(三七)は十五日發病十六日猩紅熱と診斷十八日順化院に入院加療中

○大幸監督歸京 大谷派本願寺朝鮮布敎監督大幸師は十九日午後九時南大門着列車にて歸京の筈なり

○京城基督敎青年會英語倶樂部 十九日午後八時より英語倶樂部開催ユニオン大學校テツカー氏出席講話ある由



◉小茶碗 百合を一片づゝはがし鍋に湯を煮立て鹽少量を入れ此中にて百合をざつと茹で鴨の身をそぎ身にして是れもざつと茹で糸三葉を三分位に切りて右三種を小茶碗に入れ上より玉子へ煮汁を交ぜたる物をかけて蒸籠へ入れ蒸す初め湯の煮立し處へ蒸籠をかけ直に火をとろくして靜かに蒸す玉子のかたまりたるを度として休める(玉子一杯に煮汁一杯半醤油少量の割)

…走したちを憲兵の手に収押で…れ歸られたるが其後數回無屆外出…決處分に附せらる(平壤)

◉寫眞を添へて 門司市幸町…たり(釜山)…其を添へ保護を釜山警察署に願出で

十八日午後九時四十分釜山入港高麗丸…舞人四名、三等(七十一名)…國太郎、同貞子、神原登太郎、多久島市次郎、赤松傳補、同はる、同介、同精次、水野嘉宏、佐々木常郎、林文造、三等(百五十名)

商況

公債直取引(東京)

十九日出來値

五分特別	九四、七〇
五分利公債 甲	―
四分利	八二、五〇
四分利	八三、三〇
四分利	九四、〇〇
五分	九四、〇〇

深川在米特電

十九日現在高

朝鮮米	三二、八一四
湖米	八一、一一三
内地米	一、六一〇、七二二

東京期米特電

十九日前場

	三月限	當限
寄付	一七、〇〇	―
高値	一七、〇七	―
安値	一六、八七	―
止め	一七、〇二	―

大阪期米特電

十九日前場

	當限	中限	先限
寄付	一五、三八	―	―
寄付	一五、八四	―	―
止め	一六、四八	―	―

下關期米特電

十九日前場(後)

	當限	中限	先限
寄付	一五、三三	一六、三三	一六、三三
高値	一五、三五	一六、五五	一六、三四
安値	一五、三三	一六、二七	一六、三三
止め	一五、三三	一六、三八	一六、三七

雜報

◉綿糸布一高一低 綿糸布十九日の大阪相場は米綿四十五 三品糸先物百七十三圓六十五錢綿布三銘

◉錢安 現物六圓十錢の入 電を齎らし依然一高一低の市況を示すのみにて未だ確くと先行きの込みも立難き模樣なり

◉官鹽の需給 我國約二億斤と稱せらるゝに一昨年度外國鹽輸入高約一億五千萬斤なるが昨年度外製鹽高は六千餘萬斤……結局之又增加して各地に四千萬斤……南鮮地方の貯藏……

◉京義線地方 漸次に販路を拓き春先き却つて安かるべしと唱ふるものあり

◉內地清酒値上 仁川は大樽一丁に付一圓五十錢 京城は一圓の値上

昨年十一月末の一割上實行迄に止まる 多少値段を異にする尙瓶詰は……

◉炭價更に暴騰 愈々小賣二十圓 高値更に一圓押高値を期待されつゝあり

◉牛皮は鈍状 其後の牛皮市況は依然大皮に向つてのみ買進まれ……

◉買凌ぎたりといへど十四五日を以て在荷の大部を……只管時期を待つ

◉人蔘精と需給 本年度産額一百貫……

◉森仲買店 仁川海岸町三丁目 米豆取引所仲買人 電話店用八三〇番 本宅電話八三二番

原料の不足を告ぐ…一圓の高値を唱ふ 粗惡品一層品質…

◉煉乳一部高し 十錢内外 十六圓三…

京城正米

京城雜穀

南大門の廻穀

島山玄米	二七六叭
島山白米	五六叭
仁川玄米	三〇叭
大安玄米	三七叭
平澤玄米	一〇八叭
金村白米	六四叭
水原白米	六〇叭
島山白米	一九叭
金村白米	三六叭
平澤大豆	二七叭

仁川現物市場

平澤白米 一三叭 砂里院豆 二六叭 …

釜山穀市場 十八日

◉仁川期米 十九日前場 大阪天候晴大前寄十六圓四十八錢 昨止より一錢高の入電二十四十六錢の移り 大阪六節三十九錢安

仁川米豆取引所

十九日の三月限

	前場
寄付	十一圓九十五錢
高値	十一圓九十四錢
安値	十一圓九十五錢
止め	十一圓九十五錢
出來高	二萬四百五十石

市場雜聞

▲底強く保合 ▲大阪の不勢を受け買聲絶ゆ ▲前場の手振

青物だより

生魚市場

◉期米 仁川海岸町 米豆取引所仲買人 賣買 電話一五八〇 平商店

▲大に買ふ ▲能く賣る ▲能く買ふ ▲結局動かず ▲押目は能く送買 ▲急貨物も現はれ ▲納大に縮少 ▲迄縮少に此間約 ▲百丁の鞘寄 ▲返報の場合は案外 ▲鞘の擴大を見る

◉進賓 仁川海岸町 米豆取引所仲買人 迅速 電話一六五番 廣潮芳太郎

演藝案内

壽座 京城壽町 電話五七八番 △一月二十日特別興行 『假名手本忠臣藏』 大序より討入まで

御成座 京城御成町 電話二九一 新なきぬ中 全五場 切られ與三郎玄治店の場

壽館 京城壽町 電話一〇五〇 △獨流浪花節教育的讀物

稻荷座 本町五丁目 △一休和尚 △吉原百人斬

浪花館 明治町 電話二六〇 △東京落語柳連雷門助六一行

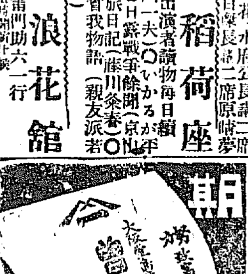
大正館 櫻井町 電話八七三 一月十三日より第三次特別大寫眞

黄金館 早川直營 電話二六三七

朝鮮鑛業要覽 附圖 朝鮮地質鑛產圖 京城日報社代理部、大阪屋號書店

〆 野瀬久次郎商店 東京米穀商品取引所仲買人 東京市日本橋區蠣殼町一ノ二

東京小松 家傳 切痔疾の治法 本家 京橋區 小松痔の祕薬



月經 流經 新薬レスノリン
本家 田知本和三郎 謹製
代理店 京城南大門通 新井藥房
ひせん水

髪をしなやかに丈長がく美しく房々こ黒くするはパール煉香油 パール愛用者がおつしやる實話であります
本舖 東京 平尾銑也商店 關西代理店 大阪 平尾贊平支店

明君道中記

第三十四席　田邊南龍口演

町奉行加賀爪民部少輔は頭取いたして考へたが、此方は西丸殿と知りし故事無く濟みしが、何を云ふにも當時は半治半亂の世の中諸家の浪人が徘徊いたし居れば、若し是を知らずして狼藉者と心得て御尊體を損ふ樣なことがあつてはならぬと思ひました故、密に參りましたは御傳役の酒井讃岐守の屋敷、お會を願つて昨夜の始末を詳に語ると、酒井忠勝侯是を聞いて大きに驚き　忠『能うこそ告げた拙者が御意見をいたすに依て何うか此の事は内聞にいたしくれますやう　民『宜しうございまする、決して他言は仕りません、何分其許樣よりお止りになる樣に御意見を願ひまする』と民部は引退る、讃岐守忠勝は直に御前へ出て御意見をいたさうと思ひましたが、意見をした處で予は知らんと被仰ればそれまでのことそれより一層今晩現場へ臨んで皆々を取押へ御意見をいたさうと心得ましたから暮方より支度いたして屋敷を立出番町から濠端へ出で牛ケ淵中坂と彼の邊をグル〳〵巡つて居る、か〻ることのあらうとは夢にも知らん家光公主從、相も變らず中坂へ出張して往來の者あらば試さんと八方を見張て居る　家『紋太運四、昨夜は驚いたな　紋『イヤ實に酷い目に遇ひました　家『民部が予と知らずに召捕に來をつた、然し今晩は來る氣遣ひはない安堵いたせ』と仰せられて居ると向ふより來かゝつた一人の武士、觀世流の小謠を唄ひながら酒の機嫌かして千鳥足で此方へ來る　家『あれ見よ彼處へ參つた武士、今晩は左京亮金左衞門の兩人へ申し付る故、出て彼の武士を試せ　兩人『武士には懲々いたしました、是は御無用に遊ばして　家『イヤ弱いことを申すな若し其方共が及ばぬ節は予が助力いたして遣はすゆゑ心配いたすな』乃で仕方が無い左京金左衞門の兩人は力を入れて待受けます、此處へ來た武士さいふは是別人ならず酒井讃岐守侯であります　忠『ハヽア彼處に四五人の武士が立て居るが、あれだな、中に金職に左方からバラ〳〵と寄つた左京亮　兩人『待てッ』と聲を掛けたから顧眄くとニイと兩人左右より組付てかゝる、忠勝は心得たりと飛び開き、右手の金左衞門の利腕を摑んで手元へ引き足を上げて蹴飛したから、向ふの溝渠の中へ陷つた左から飛かゝつた來た左京亮の胸の邊りを拳を以て突いたからウンと倒れて氣絶をする、家光公是を御覧なさると以ての外怒つて　家『汝曲者手遊いをするか』と組付を彼の武士は飛鳥の如く手元へ飛込んで其儘兩手を掛けて家光公を宙に引立てゥーンと力を入れて差上げた、家光公は驚き　家『コレ免せ、人違ひであるから免せ〳〵　忠『何に免せ卑怯な奴じや偖は汝等は物を云はず組付く處を以て見れば物取りではないな、腕試しをいたすのじやな、己れが命の惜しきを思ひ後來斯樣なことは廢せ、今晩は助けて遣はすが此の後斯樣なことをいたして居ると其時には助けて置かんぞ　家『もう是に懲りて止るから助けろ　忠『然らば助け遣はす、懲しめの爲に向ふの溝へ投り込んで遣らうか、但しは此の土手へ打付けて遣らうか、何方でも望め　家『溝は免せ、土手だ〳〵　忠『何に溝は厭だから土手だと、ハヽヽ、弱い奴ぢやな左樣なら望み通り土手にして遣らうと土手へ打付けました。

汽車時刻

京釜線　南大門發　龍山發　永登浦發　水原發　成歡發　鳥致院發　大田發　秋風嶺發　大邱發　[illegible]

湖南線　大田發　江景發　裡里發　[illegible]

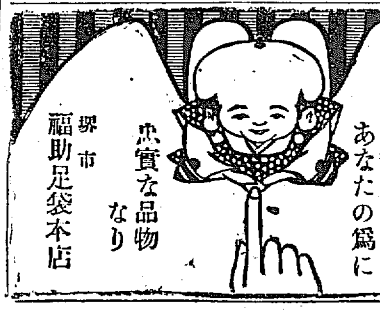
京義線　南大門發　龍山發　開城發　[illegible]

京元線　南大門發　龍山發　[illegible]

兼二浦支線　[illegible]

[illegible]

愈々寒さ來れり
冷性で御困りの御方は！
津村本店の
八参エキスを
御存知無き御方でしよう
京城本町一　電話一四八〇　振替三五一一
津村兄弟商會本店



一月二十一日九星

舊十二月廿八日　癸亥
本命　六白　乾　開　先負

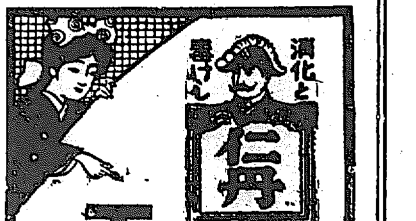
▲六白● 引續き親類の事ある日注意 新事見合すべし 南方は吉 乾▲七赤● 大利の日 不圖 立身出世の道に出づ 萬事吉 待人遠くより來る ▲八白● 祭祀の日 移居開業入學名望家作求職嫁娶取大なる金銭を計る等萬吉 ▲九紫● 婚禮の事ある日 新築 手控 移轉は吉 行儀作法を守るべし ▲一白● 中央の日 轉居行商入門名望家作求職金件相談 [illegible] ▲二黑● [illegible] ▲三碧● [illegible] ▲四綠● 平凡の日なれども新事手控 [illegible] ▲五黃● 大概行ふ日 [illegible]

不老の藥を
現代に求むれば
常に身體を淸らかにして皮膚の
新陳代謝を善くし、老も若やぐ
色艶を發揮する……我が國産の
品質本位
花王石鹸に
優るものはありません！

花王石鹸製造元　朝香水關東代理店　東京馬喰町　長瀬商會
朝香水日本輸入元　花王石鹸關西代理店　大阪安土町　大崎組商會

質
京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）
堀佐營業所
電話六三九番

內科
小兒科
京城日出小學校前
多々見醫院
入院隨意
電話九四〇番



正月の●廻禮●宴會●觀劇に
仁丹離されぬ
金言　三人行へば必ず我師あり（論語）

本邦人の皮膚毛髪に適する化粧用水石鹸
◎ミツワ水石鹸

MITSUWA LIQUID SOAP.
Very best materials and exquisite fragrance are blended in Mitsuwa Liquid Soap. It refreshes, invigorates and delights as no other soap can. It makes the skin soft, smooth and beautiful, while it will not injure even the tenderest skins.
Price 35 Sen and 50 Sen.

ミツワ石鹸が品質純良にして皮膚毛髪の洗滌に適し、衛生美容の資料となるが如く、◎ミツワ水石鹸も亦優良なる品質を具備せる芳香化粧料なり、從來の普通水石鹸には刺戟甚だしく皮膚毛髪を傷ふもの多きに反し、此◎ミツワ水石鹸は優秀なる原料と馥郁たる芳香料とを以て精製せられ、洗滌に際して隨意に適量を振出すことを得、他人の使用せる後にも些の不快を感せず、皮脂の分泌夥多に而も皮膚粗糙なる本邦人の化粧用水石鹸として、實に理想的の逸品にして、生彩ある化粧を施すに最も好適のものなり。

定價 金參拾五錢　大壜 金五拾錢

（現品縮寫圖）

芳香馥郁たる家庭用肌着香水オー、ド、フラール
◎ミツワ花の雫

EAU DE FLEURS
made from the best materials by a perfect chemical process, has a delicate and exquisite fragrance. The application of this Mitsuwa Lotion on your underwares, towels, handkerchieves, sheets or into the water when washing or bathing, will be so charmed and quite refreshed.
Price 45 Sen and 70 Sen.

優秀なる原料と馥郁たる芳香と熟練なる技術とを以て精製されたる家庭用香水の◎ミツワ花の雫は、温雅なる芳香を有し、清涼爽快の感を與ふる理想的の家庭用品なり、從來の家庭用香水には徒に強烈なる香を放ち、手巾衣服等に振掛くれば、汚點を殘すもの多きに反し、◎ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき温雅の芳香を有し毫も汚點を殘す憂なく肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面浴槽等に用ふれば、清涼の感を得ること、本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる香水なり。

定價 金四拾五錢　大壜 金七拾錢

（現品縮寫圖）

毛髪の營養料頭髪用衛生香水ヘーヤ、ローション
◎ミツワ月の雫

MITSUWA HAIR LOTION.
Apply a few drops of the lotion after washing your hair, you will notice the delightful sensation of keeping your hair clean, sweet and healthy. It has a faint, yet delightful smell. It is the best lotion known to remove the dandruff, and stops scalp itching and prevents falling hair.
Price 45 Sen and 80 Sen.

從來の頭髪用香水には、毛髪を傷め又は毛根を害ふもの多きに反し、◎ミツワ月の雫は温雅の芳香を有し、毛髪の營養發育に効ある理想的頭髪用香水なり、優良なる品質を具備し、毛髪の衛生に適する◎ミツワ石鹸を以て、毛髪を洗滌せる後此◎ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髪の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脱毛及雲脂の過度を防ぎ、營養を良くするに特効ある美髪料なり。故に毛髪の衛生に留意し、美髪を欲するものには、實に理想的の頭髪用香水なり。

定價 金五拾錢　大壜 金八拾錢

（現品縮寫圖）

ミツワ石鹸
ミツワ家庭藥
ミツワ椿油
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元
◎丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
電話營業部浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番
電信略號◎ミヤ、振替貯金口座東京七一〇〇番

京城日報
第三版
一月二十日（夕刊と合せて八頁）
本紙定價　一部金三錢 一ヶ月金六十五錢 ……
發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介
京城太平通一丁目　發行所 合資會社 京城日報社
電話 編輯用 三四五番 二二一四番 ……

滿蒙の牧羊
天惠的の牧場多し

○牧羊經營地として我が領土內或は勢力範圍中何れの地域が最も適當なりやと云はゞ萬人齊しくそは滿蒙の天地なりと答ふるなる可し蓋し滿蒙の牧羊業が然く適當なる所以は現在南滿の天地には約五百餘萬頭（內蒙羊約四百餘萬頭）の羊を飼育して年々約六百餘萬斤の羊毛を生產しつゝあり而も牧場適地は數萬方里に亙り到る處隆盛を極むるの實際事實に基く者なり而して滿蒙が斯る現況をなせる所以は此れ天惠的に一般牧畜業の經營に適するとが其最大原因を爲す者にて今滿蒙を我が內地に比較して本業に適するの諸點を擧ぐれば左の如し

（一）空氣の乾燥すること（二）降雨降雪期共に連續せざること（三）積雪の少きこと（四）惡疫の比較的少きこと（五）土地の平坦なること（六）有毒地の皆無なること（七）土人が牧羊に慣熟せること

○以上各項を觀る時は如何に滿蒙が天惠的牧羊地たることを看取し得べし而して我邦人が此天惠的土地に據りて牧羊業を經營するには左の二點に注意せざる可からず

（一）蒙古羊は毛質劣惡なるを以て之れを改良するため優良なるメリノー種を交配すること

（二）蒙古羊は產毛量少なきを以てメリノー種を繁殖すること及び交配種の結果良好なる時は漸次之を繁殖し以て在來種を更新すること

○斯道家の學說又は經驗に據り滿蒙に於て牧羊經營を爲すにはメリノー種を一時に多數輸入する時は多大の固定資本を要するを以て之れが經濟的經營者は先づ基本種繁殖用として少數を買入れ之に安價の蒙古種を交配繁殖せしめて漸次メリノー種と交配種のみとするの計畫を適當となす此計畫の經營法は先左の土地を選定して五個年間以上經營を持續する時は確實に資本金に對する利廻りは年三割乃至三割五分迄の平均純益を見ると敢て難事に非ざる事を證明さる

牧羊地選定事項

（一）牧羊地は平坦にして廣汎なる事

（二）自然發生の野草が飼羊に適すると共に牧草の繁殖栽培に適する事

（三）土地乾燥して或る部分には滿潔なる河水又は井水ある事

（四）放牧地內には濕氣發生せざると共に小面積の森林ある事

（五）放牧地內には小丘あると共に交通運搬に便利なる事

（六）使用人夫（牧夫臨時傭人夫等）が牧羊に就て經驗ある事

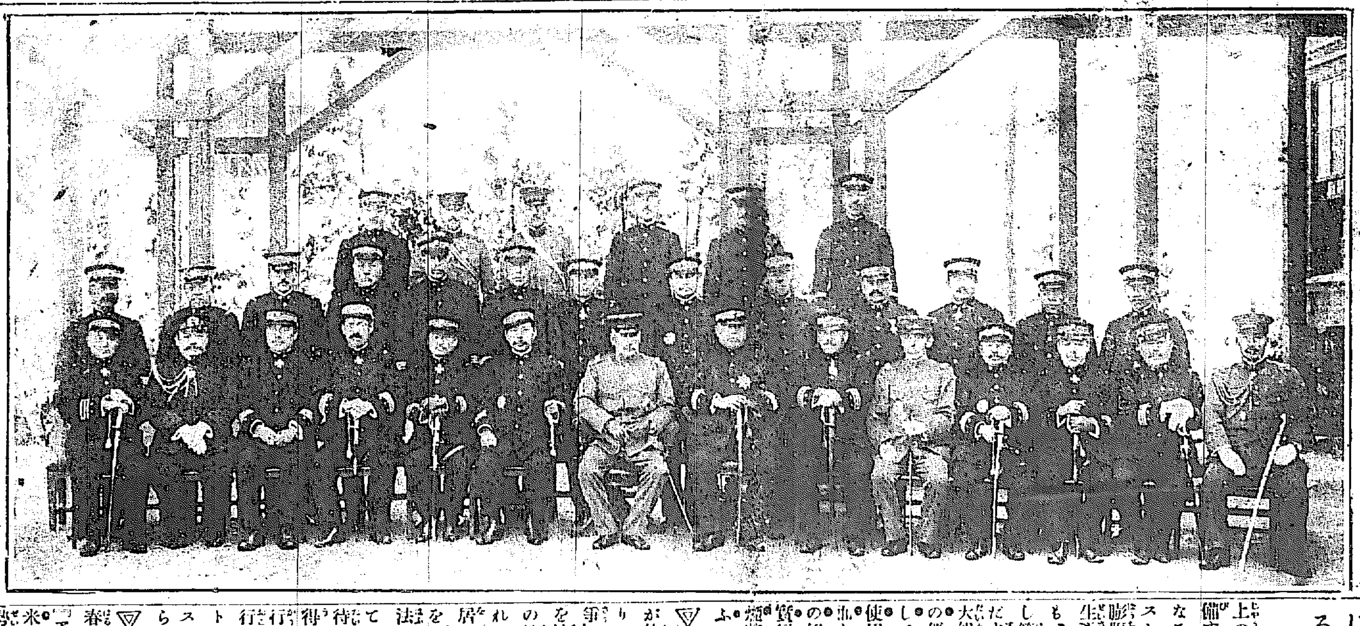
○滿蒙に於て以上の條項を具備する天地を求むるは頗る容易にして今や滿蒙の地には到る處に此の牧羊をなすべき一團地五百町乃至千町步以上の土地を容易に手に收め得べく此の有利確實なる事業の勃興を來し優良豐美なる羊毛の生產額を增加せしめて遠く外國より輸入するの煩を避け以て本邦內地の需用を充實せしめ進んでは其集散の實權を握るも決して難事に非らず實に滿蒙に於ける天惠的にして又我國に對して必須的なる本事業の經營は大に推奬せざる可からざる可し

『大正の青年と帝國の前途』を讀む（二十二）

十二月十二日上海に於て　大谷光瑞

所謂宗敎家の如きは、畢竟徒食の遊民なり、農に非ず、工に非ず、商に非ず、國の生產に對しては、毫も貢獻せず、拱手以て人の死を待つ、又國家の蠹害なり。此徒愈々多くして、國愈々弱し、中に慈善救濟の美擧をなすもの無きに非ざるも、個人として之を賞揚すべきも、大體より論せば、國の生產者に非ず。葬祭の如きは、親眷鄕黨相依て之を行はゞ可なり、特に此れが爲め、十數萬の職業者を養ふを要せず。我國人口既に半億を過ぐと雖も、この種の營業者の十數萬を要する程度の死亡者なし。彼等今日の青年の徒食せると等しく、風を敗り、俗を害するや一なり。然れども我國、蠢く皆宗敎を誤解し、其妙旨を知らず、寶玉を得て燕石とし、之を庭砌に抛てり。是に泣くもの豈古の和氏のみならんや。不肖竊きに久しく是の職業に在り、今其非を悔い、行を改めんとす。縷々數千言往咎を懺悔し、以て其罪を謝す。是書を見るの人、不肖の懺悔に隨喜し、佛敎の眞意義に入るを得ば、不肖の幸是より大なるはなし。今の世識者多く言ふ、愚民を諭すは、佛敎に若くなし、下層は敎育を以てするも及ばずと、何ぞ其言の顚倒せるや。下層と雖も人なり、人豈敎育を受けざらん、若其れ敎育及ばずとせば、敎育者の無能にして、罪此にあり。愚者は多くは質直なり、一千餘年の習慣は、概ね佛を奉じ、僧を敬す、故に僧の云ふ所、是非の別を加へずして、皆聽く、故に僧を延て、是を諭さしむるの利あるに若かず、是佛敎の惰力を利用せしむるものなり。佛敎既に滅せりと雖も、强大なる惰力は、所謂識者の奮勵せる微力よりも、貧かに偉大なり。睚眦擾て擧るも、義和の末景に及ばず、是れ此理なり。所謂識者の智は、彼の以て愚人とするものより、更に愚なり、至愚既に識者と稱して衆人の上に踞す。衆人豈愚ならざるを得んや。愚猶智たるを欲せず、自から愚を飾り、無信仰を誇らんとす。無信仰とは、無腦髓なり、無腦髓は、死者なり、擧世皆死者にして、國獨り存するを得んや。今にして佛敎の眞意義を信じ、死を轉じて生となすに非ずんば、我帝國の前途、又衰亡を免れず。惰力猶存すと雖も、既に休止を見るに至らん、然るに葬祭を宗敎とし、佛敎を愚民の用とし、寺院の形骸を保護し、僧徒は無用の技に衣食し、擧世其誤を覺らざるは、實に不肖の長大息を禁ずる能はざる所なり

臨時道長官會議列席者



（前列中央より右へ）長谷川總督、山縣政務總監、宇佐美內務部長官、古海度務總長、芳賀總督府醫院長、岡本遞信局技師、豐永中央試驗所長、高橋陸軍武官、（中央より左へ）國分司法部長官、小原農商工部長官、持地土木局長、鈴木土地調査局長、釜屋海軍武官、久水外事課長（中列右より各道長官）工藤平南、宮木全南、桑原咸北、佐々木慶南、申咸南、松永京畿、鈴木慶北、趙黃海、李江原、柳忠北、藤川平北、上林忠南、（後列右より）時永總務課長、有賀調查課長、秋山總務局長、齋藤副官、大島[illegible]

米國に於ける煙草トラスト
其沿革と……事業經營（六）
三、競爭の方法手段　1

▽資本萬能の結果　米國煙草トラストの沿革は略々上述の如し。其の歷史を一瞥して吾人の念頭に生ずる疑問は、如何にしてトラストは今日の勢力を贏得したるかに在り。既に說きたる如く、煙草トラストの發達は鐵道運賃の恩惠を受くることなく、競敵と對するに法律上の特典を賦與せらるゝことなく、又た原料蒐集に獨占支配權を有することなく、卽ち普通のトラスト側に於ける如き生產上の便利なる條件と經濟的條件を具備することなくして、克く其の偉大なる發達を期成せる所に、煙草トラストの特色を見る。此のトラストの膨脹發展は、既存の獨立大經營者大生產者を買取糾合したるに基くと雖も、是等獨立業者が既に經營したりし範圍以上に事業を擴大すること甚だ少なく、單に合縱連衡に依りて一大組織を形成せるに外ならず、彼れの優越權は多くの方法に依るに非ずして、單に競爭方法の巧妙辛辣なる使用に依りて獲得せられたるなり。而して其の競爭手段は一にトラストの絕大なる資本の力を佚つて始めて實行し得べきものにして、茲に於て煙草トラストの發達は殊に資力に負ふこと最も多きを知る。

▽地方的競爭　煙草トラストが他の當業者に對して最も有效に執りたる競爭の方法は普通に『地方競爭』と稱せらる。此れは競爭の範圍を地方的に限局する方法にして、他の地方に於ては製品の定價を維持すれども、競爭者の製品が勢力を占め居る地域圈內に於ては、特に値下げを行ひて敵の販路を攪亂す。此の方法は一般に執り得べきものに非ずして、將來に於てより大なる報酬を期待する確信の下に一時の犧牲を忍び得る大會社大組織に於てのみ之を實行し得べく、此方法が如何に有效に行はれたるかは、スタンダード石油トラストの先例あり、敢て煙草トラストに於て其の新例を見る所以にあらず。

▽競爭の實例　一八九〇年の春ナショナル・シガレット會社の製品『アドミラル』煙を驅逐する目的にて米國煙草會社（トラスト）は其の中心勢力たる『スウイートキャポーラル』煙を敵品の流布せる地域に限りて原價にて提供し、遂にナショナル社をして競爭に堪へず、降をトラストの軍門に乞ふに至らしめたり。翌一九〇一年にはツエルス・ホワイト・ヘッド會社の銘煙『ノースカロライナブライト』標の歡迎せる地方に對し米國會社が其の『アメリカン』『ビユーチー』煙を廉價に投賣して競爭せる時の如きは、紐育の仲買人は競爭地に於て『ビユーチー』煙を仕入るゝ時は紐育までの運賃と多少の割增金を支拂ふて尙ほ紐育にてトラストより仕入るゝよりも採算上有利なるを發見せる位なりき。更に一九〇六年にはトラストは、米國の南部と北部とに於て同一製品の賣價を異にし、北部にては千本三弗九十仙乃至四弗なるを南部卽ち當時ウエーア、クレーマー煙草會社製品の根據地に於ては千本三弗十五仙乃至三弗二十五仙に値引きしてクレーマー品の販路を侵蝕したり。地方的競爭の法は啻に紙卷煙にのみ限らず、板煙に於ても之を利用し、當時トラストに屬したる大陸煙草會社はリゲット・マイヤース會社と競爭せる際に其の『バッツアックス』と稱する煙を敵の根據地に於て一封度につき十三仙にて賣出したり。其頃板煙一封度につき稅金六仙、原料葉代六仙なりし故、十三仙にて製品を賣る事は明かに算盤に合はざる譯なりしが、競敵を倒さん爲めには斯かる破格の廉賣もトラストは敢てせり。然かも一旦リゲット社を併合の後は同品を一封度三十仙に値上げせり。喫用者こそよき迷惑と謂ふべけれ。

日報歌壇

◎京城　廣安つれな

野火放てば靑き煙は草を這ひ我が悲しみの廣ごりにけり

遥かなる人を思ひて双の手に受ければ白し春の夜の雪

◎京城　懋嶽

歡樂の後に來たるは悲哀ぞと知れども止まぬはかなき心

他事と思ひし悶へ今吾れに來たるにかゝる心いらだち

▲大阪底入引

三十三錢と跌し……引先十二圓……に寄付きたるも買戾勝の折柄大阪四圓五十八錢……高値九錢跌れたるが大阪止六十九錢と急……市況は大阪の底入……堅硬の成行を示したり不知今後の成行や如何……に上りたりとの事……

下關期米

十九日後場（値頃賣通取に薄商）……

生徒募集廣告

本年四月本校ヘ入學セシムベキ生徒ヲ募集ス詳細ハ一月十七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ參照スヘシ

京城醫學專門學校

巖松堂

書名　著者　定價
安心生活　推尾辨匡　一、二〇
大英國の表裏　早川德次　八〇
一兵卒の銃殺　田山花袋　一、〇〇
本朝名家詩文　岡田正之　一、五〇
クオレ物語　宇野浩二　一、〇〇
新井白石　上田萬年　一、二〇
大山元帥　西村文則　一、二〇
新書道の研究上　木村剛右　八五
死者生者　白鳥作　九五
實用書翰文　書翰文研究　六〇
處世訓話『餅』　和田垣博士　三五
參考法條挿入 鑛業法令集　中村吉元　一、三〇
朝鮮六法全書　巖松堂　一、八〇
民事訴訟法判決實例　同　三、〇〇
牛　岡本米藏　一、〇〇
朝鮮鑛業要覽　鑛業研究　一、二〇
高等文官受驗提要　巖松堂　四五

新刊

京城本町二丁目 電話一一六六番 振替京城二四五四番

最新刊

詳解漢和大字典　服部宇之吉・小柳司氣太 共著　特二、五〇
日本近世國民統一の時代　中村孝也　一、三〇
機械設計の基礎　前編　杉村伊兵衛　三、八〇
現行法令參照 日本敎育經濟要義　山口讓太郎・玉井滿平　一、〇〇
高等小學唱歌科敎授細目　青柳善吾　七五
參考法條挿入 鑛業法令集　中村吉元　一、三〇
法學通論　金森德次郎　六〇
小學敎師としてのトルストイ　三浦關造譯　一、〇〇
維新奈翁全傳上卷　長瀬鳳輔　一、五〇
合本豪俠傳　伊藤痴遊　一、五〇
宗演禪話　釋宗演　九〇
實業家處世訓　澁澤榮一述　七〇
格言訓話日日の修養　山田愛劍　一、二〇
興國の偉人新井白石　上田萬年　一、二〇
現代式辭と卓上演說　大畑匡山　特一、〇〇
高野長英　碧瑠璃園　一、六〇
クオレ物語　宇野浩二譯　一、〇〇
白木槿　原阿佐緒　八五
心の哲　笹原嶺葉　八五
手輕で安い經濟料理　東京家政研究會　五〇
新撰日本書畫名家年表　矢野幸六　二五
横範ペン習字手本 全　吉成泉外　二五

大阪屋號書店
京城本町二丁目 電話二〇八六番 振替京城二五七三番

天來の一大快著・新春第一の讀物

早川德次先生新著

大英國の表裏

これ最も大膽に明白に暴露せられたる大英國の謎なり！空論に非ず悉く皆驚愕すべき一大事實なり

今日此際吾國民が一齊に知らんと欲する所は動搖しつゝある同盟國の內情也。著者は最新歸朝者也。滯英三年、身親しく戰塵渦卷く巷に奔走して新聞記者の聰耳と縱世家の達眼よく大英國の表面裏面の嘆ふべく畏るべき隱秘を穿ちて、言々警拔皆人の意表に出づ。邦人にして斯程まで直截に深酷に外國の實情を摑み得たる著述は蓋し空前也。著者に依つて具體的に提出せられたる重大問題は甚多し。憂國の國民は必ず讀み再思三考する所あれ！

四六判三二〇頁口繪カツト十六葉入　定價金八拾錢 郵稅八錢

東京神田 發行所 [illegible]

謹賀新年

清水式無砂精米麥機

舊年中は多大の御用命を蒙り難有奉深謝候本機も茲に十周年を迎へ機械の各部は年々改良に改良を加へて進步し完全無缺に御座候尙本年も一層御引立の程希上候

天下唯一　登錄商標

製造發賣元　陸軍御用達

東京市神田區五軒町三番地

合資會社 清水商會

特長電話下谷三七三四番　振替口座二〇七〇〇番

漢學講義錄

『學課』漢學研究指針・論語・外史・政記・文章軌範・唐詩選・十八史略・作詩作文・蒙求・孟子・漢文譯・名文講義・故事熟語・試驗問題解釋・其他

目下入會の最好機・一ヶ年卒業・懸賞詩文募集・見本付會則無代進呈

東京神田 裏神保町 帝國漢學普及會

資本金五百萬圓

頭取　安田善三郎

★

京城本町壹丁目

株式會社 百三十銀行京城支店

電話 五八番　振替貯金京城一一九四番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

蘇峰學人著　最新刊

大正政局史論

菊版四三〇頁　總クロース製　定價貳圓　郵稅金十八錢

憲政實施以來已に二十有八年、其の轉變無端、波瀾曲折、幾紛擾、幾葛藤、眞に憲政の危機に陷りしもの、未だ大正政變の如きは之れあらず。著者慨世の念禁せず、秋霜烈日の筆を揮つて、此の政變の由て來る遠因近因、眞因假因、正因傍因、一切を縱横無礙に論評し、以て其の眞相を闡明す。著者の位地は以て政局の秘機を知り、其の識見は以て時勢の推移を明にし、其の觀察は以て人物の肺肝を貫くに足るが故に、其の描寫せる大正政局の舞臺は、宛然躍動、生氣横溢せる一大活圖畫の如く、噫々吾人の眼前に展開し來つて、眞に血湧き肉躍るの概あり。是に是れ史學、史眼、史筆、の三長鼎立せる一大發現として、我が蘇峰學人の獨步雄觀擅揚に庶幾し

發行所　東京市日吉町　民友社
振替口座一三一〇〇番

大取次所　京城大平通一丁目　京城日報代理部
振替京城三〇〇番

◎日支交渉解決電告

張督軍の公書に曰く『國務院より日支交渉は平和に解決し國會同意の上調印する旨電告し來れり』尚民會は十八日大會を開き北京より代表の來り交涉の經過及び政府の苦心等を述べ一同大滿足を表して散會せり（奉天特電）

◎憲政對國民黨回答

國民黨と提携協同動作に出でん

憲政會にては國民黨より議會開會劈頭現內閣不信任案提出に關する交涉に對し十九日午前九時より加藤總裁邸に最高幹部會を開き加藤總裁を始め武富、若槻、尾崎、安達、濱口の各總務河野、箕浦、島田の各顧問富田幹事長等參集安達總務より國民黨の野添濱田の兩代議士と會見の顛末を報告し次で各自意見を交換したる結果內閣不信任案に對しては憲政會としては勿論異議無く國民黨と提携して此際協同動作に出ることに決定し提出の時機は寺內首相の施政方針演說を聽取したる後是れに對し猛烈なる質問を試みたる上總括的不信任案を上程する方針にて其の時機は國民黨と交涉の上ならでは決定し難きも大體廿五日乃至廿七日の間に爲すべき旨總括にて富田幹事長をして其の旨國民黨に回答せしむることゝし散會せり（東京特電）

◎獨潜艇暴行被害船

獨逸貿易破壞船米海岸に行動

南米海岸に於て獨潜航艇暴行の犧牲となれる商船は今日迄二十三隻に達したりと信せらる又聯合國艦隊の無線電信に依れば獨逸の貿易破壞船は今や永國ヴアージニア岬の南方一千哩の海上に於て行動しつゝありと（桑港電報）

◎定例閣議內容

十九日の定例閣議は午前十時より首相官邸に於て開き先づ本野外相より外交經過に關する報告あり後輕便鐵道補助法中改正案に關する法律案一件並に勅令として陸軍給與令中改正案、公立學校に關する改正案、大正五年度追加豫算改正案の三件並に人事一件を附議決定したるが同日は議會開會前に於ける最終の閣議なれば對議會策に關し協議の要あり午後も引續き開會せり（東京特電）

◎本野外相言明

交詢社に於ける晩餐會席上本野外相は一場の演說を試みて露國は斷じて單獨講和をなす事なく戰局は勢ひ長期に亙るべしと言明せり（東京電報）

◎興銀權限擴張

政府は興業銀行の權限を擴張して工業金融の圓滑を圖らしむべし（東京電報）

◎郵船武裝中止

二月上旬神戶出帆の日本郵船熱田丸より武裝の筈なりし歐洲行商船の武裝は中止する事となれり（東京電報）

◎奉天省の我警察

日支交涉案は已に打切りとなり交涉の二大關鍵たる警察及び顧問二項中軍事顧問聘用は支那側の自由意思に任かせ警察は現在既設の者を保留し其他は後日必要の場合に支那側と協議することに交涉解決せるは世人既知の如し而して現在奉天省に於ける我警察派出所若くは出張所、駐在所は左の二十箇所にして此外未だ我警察機關を公設せざるも私服巡査をして職務を執行せしめつゝある者四箇所あり即ち左の如し

（一）奉天省東關門外二（奉天省城十間房（三）奉天省城小西門裏（四）奉天省城大北門通裏（六）奉天省城萬壽寺胡同（七）遼陽縣城西關外（八）蓋平縣城內（九）西安縣東門外（十）安東縣三道浪頭（十一）安東縣鐵嶺水泡（以上十一個所は警察派出所を既設す）（十二）鳳凰縣城內（十三）昌圖縣回江口（十四）開原縣城內（十五）法庫縣城內（十六）西豐縣城內（十七）海龍縣城街（十八）海龍縣朝陽鎮（十九）昌圖縣八面城中街（以上八個所は警察出張所を既設す）（二十）鳳凰縣城街西柴火市（右は警察駐在所を既設す）（廿一）遼源縣縣街（廿二）洮南縣牛莊（廿三）香口縣水西街（廿四）錦縣城內（以上四個所は未だ公設警察署なく私服巡査をして其職務を行はせつゝあり）

◎哈爾賓より

[illegible]死とせり此結果其增額は一年九萬留し已に株金三十萬元を募集し得たる一て地方銀行に[illegible]禁止を提唱する者[illegible]し生牛は濟南より二千二百頭[illegible]ざるに基く根據なき言說にして誤れ[illegible]のは一京容易に共病症を知る能はざる爲め寒氣の關係より一層其病勢を增し當驛到着後屠殺場前に緊留中斃死する者もある由にて十一日夜の[illegible]

◎蒙匪勢を加ふ

既に二萬を越ゆ

呼倫貝爾の西南三百餘支里なる鄂爾順阿地方に蒙匪七百餘名の一隊あり其中最も多數なるは索倫喀爾夫兩種族にして布來種人之に次ぎ露國人十七名も亦參加して連りに掠奪を行ふより蒙民は相率ゐて呼倫に逃げ來り北門山蔵圍隘壁等に避難中なるが其の言に據れば該匪が前月烏蘭不拉克一帶を擾亂せし時は其數僅かに四五十名に過ぎざりしに家屋を破壞し掠奪を擅にするの手並を示すに及びて來り加はる者漸く多く車臣汗東路右翼中旗を經て來襲せし時には其勢力已に三百餘に達し銃砲彈藥の準備も十分となりたれば蒙民の被害は殆んど形容すからざるものあり殊に近頃烏珠穆沁の匪首塔布達は特に外國人三名蒙古匪首五名を派出し來りたるが故に聲勢更に振張して兵力愈々增加しつゝあり兎に角蒙匪が烏旗を占領せし際には其兵力七千餘人なりしが數日にして一萬餘人となり今や正に二萬餘に達せるものゝ如し（奉天）

◉滿洲特產市況

▲大豆積出不勢　特產市況は其後も平凡にして大豆は三圓三十錢乃至四十錢に摑み合ひ何等抄々しき活況を示さず豆粕の如きも一圓十ヶ內に保合ひ豆油のみ曾ては十六七圓の高值ありしがこれとて最近は十三圓臺に沈靜するの商狀なり而して今大豆、豆粕の消費地材料を檢するに南支は金融の關係上需要なく昨年開拓せられたる瓜哇方面の運賃高によりて引合なく歐洲積は勿論不能の際とて大豆は一に豆粕積し物に限らるゝの有樣なり、然るに又豆粕は日々の製產大連のみにて十萬枚此が原豆三千噸を要するも埠頭積出は常に製產に伴はざるの有樣にて堆積既に四百五十萬枚の巨量に達するなどあり大豆堆積もなほ十二萬噸に及び近年になき貨物を擁せる譯なるが

▼北滿大豆不動　又北滿大豆も依然として堆積の儘にて烏港通送少く而下亦少く爲に幾の高値も大いに低落し大連品の金四圓見當なるに烏港にては三圓三十錢見當の安値なるからな輸送機關不如意の爲め荷動きなく此儘押し進まんには如何なり行くべきか露國が極東の大豆を見捨てざるべしとの樂觀派も今にては悲觀の止むなきに至れり

▼豆油と米國向　而して大連にても豆油のみは昨年約束物の積出漸く行はるべきが今後は既に米國に於ける棉花が一時二十二仙の高値より最近十八仙に下落せるなどあり加ふるに海運賃も昨秋の七弗見當のもの十二弗に騰貴するなどあり滯く不出合勝なる爲今下旬より二月へ掛けの積出は行はるとも先見込は目下の處良好といふべからず歐洲向また船腹無く全然杜絕の止むなき態にあり特產界は暫く緊張の事なかるべきかと見込まる（大連）

◉生牛輸出激增

咸鏡北道龍峴經過國境外に輸出されたる生牛數は大正五年中に於て一千四百十四頭其の價額六萬五千八百六十九圓にて一頭の平均價格四十七圓なるが大正五年一月より十一月末までに於て羅峴、新阿山、龍洞其の他國境より輸出せる生牛の總頭數は八千七百五十頭を算し之れを前年同期間の七千七百四十九頭に比すれば實に一千一頭の增加を見たり

◉冬季國境貿易

客年第四期即ち十、十一、十二の三箇月間に於ける元山稅關管內國境各地貿易狀況の概要左の如し

▲西江村　▲輸出　本期間に於ける輸出總額は三十八圓五十錢にして客年同期に比し二百四十三圓七十錢の減退なり▲輸入　輸入貨物は大小豆、粟、豌豆、生菜、生馬其他一千六百七圓にして前年同期に比し八百九圓の增加を來せり

▲新阿山　▲輸出　本期中の輸出總額は八萬八千六百四十九圓餘にして前年同期に比し五萬三千九百四十七圓卽ち倍額以上の增加を見たり其主要なるは生牛にして本期輸出高一千七百三十五頭、八萬八千二百七十六圓を算し前年同期に比し四百十八頭五萬三千七百二十一圓の激增を示せり、是れ目先結氷に迫り輸送困難を豫想せると露國境留置檢疫所廢され直に畑秋市場に運搬せらるゝに至りたる等買氣を煽り十一月中旬に於ては一プート十四留の珍値を唱へたる結果なり▲輸入　輸入額は二千五百六十六圓餘にして前年同期に比し四百六十八圓餘の增加なり蓋し本期は白隱元豆の高値を現し且つ農產物の豐穰に伴ふ地方經濟の復興により貨物の動搖を促進したるによる而して主たる輸入品を擧ぐれば精粟六百三十圓、白隱元豆五百一圓、蔬菜生菜の二百五十圓等なりき

▲古邑　▲輸出　本期輸出品總額は四千二百一圓餘にして主に生牛、鮮魚、鯟、天竺布、晒金巾、紡績糸等にして之を前年同期に比すれば四千八十五圓の增加を來せり輸出皆無なりしに反し本年は二千七百七十四圓の多き輸出を見たるに依るものにして此等は對岸地方に牛疫流行の爲斃死或は斃卽せし耕牛の補充の爲需要せられたると一面には沿海州地方の牛價騰貴により盛況を呈したるなり鰊は西水羅地方の漁獲にして生牛と共に浦鹽方面に食用として需要せられたるものなり▲輸入　輸入品總額は二千三百九十六圓餘にして主として隱元豆、牛馬、小豆、鯟、乾貝等とす而して昨年同期に比すれば七百二十四圓の減少を見たり卽ち昨年同期にありては漂流木材二千五百八十九圓餘の處分を了したるに依るものにして其他の各貨物に於ては寧ろ盛況に向ひつゝあり隱元豆の輸入は五百五十八圓餘にして沿海州の產也

◉精米輸出高

平南　平安南道鎮南浦港より五年度に於ける精米の輸出されたる數量は四年度の其れに比し激增したるが內地滿洲に仕向けたるものは總計一二九四三石價格二〇五〇〇〇圓にして內地行八七五〇石價一三六九四四圓輸出先は大阪東京橫濱和歌の浦名古屋等にて其內大阪最も多く五二五〇石價格八二二四四圓なり又支那方面は一二九四三石にして價格六八〇五六圓なり主として大連遼陽長春哈爾賓安東縣旅順青島營口等なり大連最も多く一六二九石價格二五九〇六圓の輸出なりと（平壤）

◉仁川經濟狀況

▲滯貨漸く減少　仁川に於ける米穀の昨年末繰越高は三十萬八千八百六十一叺に達したるも年末來の嚴寒と激烈なる流氷の爲め船繰に支障を來し滯貨の搬出方意の如くならざりしが地方よりの延著著しく減少したる結果大體に於て滯貨の疏通を見るに至り本月十五日現在高は玄米十八萬三千五百五十二叺白米七千二十四叺大豆五萬八千六百九十叺小豆一萬千四十八叺小麥一萬三千七百五十二叺荏子八百九十四叺粟二千九百十一俵粉米三千三百七十二叺蕎麥百叺糯米三百三十叺合計二十八萬二千六百四十六叺にして舊臘末に現在に比し二萬六千八百十五叺の減少を見たり而して中旬以降は流氷及び暴風雨の爲め順次遲延したる航船の入港一時に輻輳する豫定なれば滯貨の減少は益々好調を呈し米穀市場の活況を見るに至るべし

▲相場底意强し　正米相場は大阪の定期安及び滯貨の影響を受け目下保合の商狀にあり加へて最近當地にては既に此が準備に著手せる者さへあり且つ小口ながらもハルピン方面にも仕向けらるゝ等各方面より吉報を齎らし來れる爲め底意極めて堅く今後大阪方面に於て相場の下落を見るも仁川市場は此が爲に動搖を來すが如き事は萬無かる可しと

▲舊正月と奧地　昨年十一月以來停滯貨物は釘付となりたる結果米穀の相場は低落又低落といふ有樣にて歲末に至りては問屋筋の買止めとなりたる爲め舊正を控へたる鮮人側の經濟界は不安恐慌に陷らずやと杞憂せしめたるも節季に近づくに隨つて差したる影響無き事を發見し、き商值にて放賣しだるを以て懷具合暖く且つ下落したりと雖も例年に比し依然として氣勢强ければ一般に樂觀裡に迎年し得る見込立ちたるもの如し又最近に於ける鮮人向き諸雜貨の地方への送は夥しく增加したるは勿論取立爲替の成績良好なる事殆んど近年に比例無きに徵しても鮮人側經濟界の順調に赴きつゝ有る事を窺ふに足らん

▲商業範圍擴大　鮮人向諸雜貨は昨今京城市中に仕向けらるゝに至りたるのみならず開城を主として平壤以北に及び又京釜沿線は大邱に至り更に群山の勢力範圍を突破して全州方面に及び居れるが之れ其の根柢に於て如何に健全なるかを證明するに足らん云々と龍治鮮銀支店長は語れり（仁川支局）

◎營林廠製材値上

營林廠の製材は過般約一割市の値上げを行ひ近く又た需給の關係上若干の值上げをなすべしとの事なるが其の製材は殆んど全部三井物產並に新義州朝鮮木材會社との手により一般需要者に供給せられつゝあるが昨年中三井の手に取扱はれしものは約五十萬圓に上りしと

◎舊節季と銀行券

朝鮮銀行券は最近益々收縮の傾向を呈し十八日の現在は四千百萬圓臺に下り舊臘の最大膨脹時に比すれば約五百萬圓の減少となりしが各地を通じ茲三四日間は舊正月前にて朝鮮人間に年末決濟資金の需要あり百萬圓內外の膨脹を見るに至るべしと

◎東拓移民案內所

東拓の下の關釜山兩地に於ける第七回移民の渡來案內所は二十日より開所の筈なりしも都合上二月一日より開設の事と變更されたり

◎馬山浦立標改築

慶南馬山浦掛燈立標は改築工事の爲め一月中旬より本燈を撤去し該工事中該立標の東側に不動白色の假燈を點火す

◎道長官招待會

貴族及び鮮人側實業家の重なるものは既報の如く十八日午後六時より明月館に道長官招待會を催せり忌中缺席の上林長官、小原農商工部長官も出席せり主忠南道長官を除き宇佐美內務部長官人側は朴泳孝侯を始め貴族實業家等にして主客席定まるや趙重應子爵は發起人を代表して一場の挨拶を爲し松永京畿道長官は來賓を代表して謝辭を述べ主客歡を盡して散會せりと

◎石塚總裁著京

東拓總裁石塚英藏氏は十九日夜東京に著したり

◎松平子東上

上院議員松平直平子は議會出席の爲め十九日午後七時五十分發列車にて東上す

◎水間中佐等下仁

入京中の咸北警務部長水間憲兵中佐岡本北鮮日報社長等は十九日午後三時四十分南大門驛發下仁楠野府尹を訪ひ一泊の上二十日歸京岡本氏は同夜東上すべしと

◎羅山郵便所新設

一月二十六日より全南咸平郡平陵面三田里に羅山郵便所を新設し電信事務電話通話事務を取扱ふ由

▲前田昇氏（慶南警務部長）▲服部米次郎氏（慶北警務部長）十九日夜入京浦尾へ▲櫻井政三郎氏（忠北警務部長）同上不知火へ▲藤谷彥吉氏（黃海道警務部長）同上山本旅館へ▲古屋誠威氏（咸南洪原警察署長）同上原金へ▲李江原道長官　二十日午後退京の豫定▲佐々木慶南道長官▲宮木全南道長官▲工藤平南道長官▲鈴木慶北道長官　二十日朝退京の豫定▲趙黃海道長官　十九日退京▲西田滲次郎氏（大阪貿易商）同上▲庄野雄次氏（辯護士）十八日入京松本正寬氏方へ滯在

■南言北語■

英國の女權擴張論者シルヴイヤ、パンクハースト孃と云ふ女傑は過般講和をせよと云ふ運動を起して倫敦で示威運動をやらうとした▲所が群衆は此の女の平和演說に慨慨して暴行を加へやうとする▲巡査は早速保護と云ふ名義で孃及び友人を警察に連れて行つた▲警察では調べる件があると云つて放免をせぬので女豪傑も大分閉口した相な▲女權論者と云へば名物の亞米利加で先達大統領ウヰルソン氏が上下兩院議員を集め施政方針の大演說をやつて居る最中▲正面二階の傍聽席の欄干から大きな黃色の旗がダラリと垂れた▲驚いて見ると六人の女が欄干に凭れて此の旗を持て居る旗には墨黑々と『大統領君、婦人參政權は何うなさる』と書てあつた▲大統領は演說中であつたから一寸笑つた丈けで何にも云はなかつた▲吃驚したのは傍聽席二階の守衞で直に飛んで行つて其の旗を引つたくつて拘引しやうとしたが守衞長の注意で止めた▲婦人參政權運動者も此頃は却々上手になつて其の日も旗の出る少し前▲運動員の一人が新聞記者席に來て今黃色い旗が二階から出て議場を騷がすと云ふタイプライターにしたものを記者連に配つた而して旗を擔げた六人の女の名前もあつた▲其の中のヒルス夫人と云ふのはクリーブランド內閣の國務長官であつて又た最初の駐英米國大使であつた故バヤード氏の娘であつた▲何故に旗を擔げたかと問ふとヒルス夫人は大統領の施政方針中にも此問題に關しては一言も云はぬから大統領及び議會を覺醒さする爲に旗を出した▲今後も姿勢は主義の徹底する迄は活動すると却々鼻息が荒かつたとの事▲何時もなら女豪傑には手が付られぬと見ゑる

雪景　院軒　金容

欲看雪景上層樓。萬頃瓊波一望收
濱上梅花尋舊約。岸邊楊柳惹新愁
滿山玉樹寒相倚。下界銀河凍不流
借問溪翁高士宅。有誰來泊子猷舟

小兒齒科衛生科　齒列矯正科
京城府龍山榮町　龍山齒科醫院　電話五五五番

朝鮮總督府裁判所書記　早川保次君編著　改訂增補第三版
朝鮮不動產商業登記申請書式全
◉紙數四百八十頁　◉代價金壹圓　郵稅拾錢
既に再版一萬部を賣盡し尙各方面よりの注文盛なるを以て此の甚大なる江湖の大歡迎に對し更に改訂增補茲に第三版を發賣するに至れり抑登記に關する知識は本書に說き盡して餘蘊なし
卷中 不動產登記の部 には土地調查に關聯せる不動產登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑託書式等併て百二十餘件並に印鑑屆、改印屆、委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を揭げ加之登記に關する決議、通牒、實例等苟も申請人の參考となるべきものは擧て各書式の末尾に之を揭記し以て疑獸を明釋し又 商業登記の部 には商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得べき程度に之を編纂せり土地所有者、不動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり
賣捌元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部
取次所　京城本町二丁目　振替京城一二五七三　電話二〇八六番　大阪屋號書店

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士　從五位　堀池常作
事務所　大邱府南龍岡町

石炭販賣廣告
弊商會は明治鑛業株式合資會社朝鮮支店の後援を受け同社經營に係る朝鮮產の安州炭並に內地產の各種炭を一手に取次ぎ卸及び小口販賣を開始仕候間何卒多少に不拘御用命被下度奉願上候
京城南大門通五丁目十七番地　岩田商會　電話二六六番
同　西大門驛前　岩田商會出張所　電話一六七九番
岩田商會特徵　斤量正確　價格低廉

イケダ小兒病內科醫院　池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院）一二三四番（自宅）八八〇番

開院廣告
□內科小兒科
□眼科
□外科
□產婦人科
其他一般診療に應す
藥價實費の實費　宅診往診絕對無料　診察晝夜
京城警務總監部通新道（中將湯前）
實費診療醫院本部　電話二五三二番
附屬　酸素療法　オキシヘーラー治療所
一月十四日京城日報朝刊一面熟覽あれ

[illegible]上組せる國際戰の結果該會社の營業非常に發達せるを以て東清鐵道は製糖税を每プード百哥宛增加して塊糖一プード六百哥砂糖一プート五百哥

●銀行創設準備 前長春中國銀行經理袁某は哈爾賓に銀行を創立せんとし過般來北京に赴きて資本を運動

[illegible]報に據れば全省公民等は廣信公司が金融を破壞し多大の損失を社會に來たすを以て聯名して該公司を取消し[illegible]

◉庭園は何うして出來た？？

古瓦に見る六千年前の埃及の庭園

明治神宮造營局囑託 田村林學士談（一）

帝國大學講師林學士田村剛氏は去る十七日朝鮮各地の調査を了し歸京の途次、釜山に立寄りたるを機とし、釜山府尹は同氏に委囑して

◇龍頭山公園 の設備改良及び附近名勝地の踏査を請ひ其所見を聽く可く市の有力者十數氏並に各新聞記者を南濱町小倉庵に招待したり晩餐會を催し終つて、別席に於て公園の沿革並びに龍頭山公園及び伏兵山の公園設備に對し約一時間に亙る氏の講演に曰く公園の設計に對する所見を述ぶるに先ち先づ順序として

◇其の起源變遷 より現在の公園に至る順序を語るの必要あるを認めたれば一應簡單に述ぶることゝせん、抑も上古に於ては、庭園と稱するものは今日の如く住居の裝飾又は望觀等の意味に因りて設計せられたるものに非ずして、自己生活の必要より蔬菜や實を得んが爲め、または魚類の養殖に利せんが爲め、原野池沼の幾分を應用したる單純の計畫に過ぎざりしが、其後

◇人智稍進化 するに從ひ實利を兼ねて住宅の四邊を飾るべき意味の下に庭園を形作る如く設計し來れるもの、如し、現に今を去る六千年前に埋沒せる古瓦を埃及に於て發掘せしことありしに、其古瓦の模樣に因りて其時代の一斑を窺ひ知るを得たり、猶ほ希臘、羅馬等に於ても建築と同樣線にて模樣を顯せるものに據りて、建築庭園の樣式を定めたるに過ぎざるもの、如し、後ち

◇伊太利に至 て稍や進歩の迹あるも、未だ今日の如く庭園としての趣味を解せず、自然美を樂むよりは人生美を樂ましむべき爲め彫刻を主要せるに對して佛國のルノートン氏は庭園に關して種々の研讃をなし佛蘭西式庭園を建設せんと爲せる際恰かも歐洲動亂相次いで起り所謂暗黑時代に移りたり爲めに歐洲に於て庭園の發達なかりしが其後バビロンアッシリヤに據りて

◇東洋庭園を 歐洲に紹介せられたるがこは印度の人工設計なりしが支那に於ては庭園は自然を樂むと云ふ趣を以て設計せられしことは既に四千年前より行はれたり、彼の唐の時代に於て最も全盛を極めたりしも爾來漸次墮落し清の時代に至りては更らに價値なきに至りたり、然れども多少自然を樂むと云ふべき形跡を存じたりしを英國宣敎師ウイリヤム、チャンバー氏は支那に來りて

◇支那式庭園 を觀覽して一驚を喫し、歐洲に未だ自然を尊ぶ庭園なるものなく、只だ人工に因りて建築物を裝飾するに過ぎず、支那庭園の如く變化に富む設計は大に學ばざるべからずとなし、同氏は支那庭園の趣味深きを英國に紹介し同國人に對し大なる刺戟を與へたり、また自然主義の庭園を建設するもの稍や多きを見たる佛國は英國の庭園を眞似るもの續々興り英國より庭造師を招き從來の庭園を破壞し

◇英支混合の 庭園を作るに至りしが英國の貴族は相競ふて宏大なる自然主義の庭園所謂莊園なるものを建設し、遂に今日の所謂ゆる公園の如く牛馬に乘りて周遊するもの興れり、然るに後ちまたこれに反對を唱ふるものが起り其云ふ所は野山を散歩すれば以て足るべし別に莊園の建設を必要とせずと、同時に伊太利にも稍や之れに類する反對說起り、舊庭園を復活する傾向を生じたり、されば

◇自然主義と 人工主義との二派は分立し斯くして遂に兩主義の長を採り之れを折衷して今日各國に建設せる如き稍や完全に近き公園を形成するに至りしなり、朝鮮及び日本には太古には庭園と稱すべきもの無論無かりしが、朝鮮に於ける庭園の起原變遷等は、何等徵すべき考證なきも日本及び朝鮮の庭園は總て

◇支那に模倣 したるものに相違なき丈は確實に認めらるべし、日本に於ける庭園は各國に卓絕せる優秀の特徵を有し居れるは世評の認むる所なりとす、日本の庭園は既に奈良朝以前に朝鮮より庭造師が渡來し、支那式と朝鮮式との混合庭園を建設し奈良朝時代の

◇曲水の宴を 張り杯を浮べて春興を恣にしたることは史蹟に明なる所なり、朝鮮の庭園樣式なるものは、溫突より坐して眺むると云ふ風になり居り、山を背景にして人の高さに傾斜地を作り溫突の煙出しを遙かに引き延ばして一種の裝飾に應用したる等のことありしも、大體の樣式は支那と差して異なる所なく又た特徵として認むる點を發見せず（つゞく）

◉烈風中の火災

場所は下の關西細江町　消防夫數名負傷

十八日午前五時三十分頃下の關西細江町三榮組品川榮次郎方仲仕寄場より火を發し折柄の東の烈風に煽られて火は見る／＼四方に延燒し住家二棟三戸倉庫四棟を灰燼に歸せしめ半燒住家八棟八戸を出したり發火場所は仲仕寄場にては前夜仕事ありし爲十時頃迄一同ストーブを焚き解散したるが十八日朝五時三十分に到り同寄場に火を發したるも之に氣附くものなく見る／＼屋根を吹き上げ折柄夜明けてより吹き募りたる東風に火勢は猛烈となり西隣伊豫要山中要藏方の醬油諸味倉庫に延燒し續いて東隣福田大村商店の材木倉庫に移り一時は火勢凄まじかりしも警察署員、消防組、青年會員等の集合速かなりし爲め同七時十分遂に鎭火するを得たり而して此の混雜の爲め消防夫數名手足等に火傷打撲傷を受けたるも何れも輕傷にして格別の事なく罹災者に於ても幸に死傷者なかりし發火の場所は附近に豐前田遊廓を控へ居る事とて大混雜を演じたるが此混雜に紛れ入りたる所謂火事泥棒は驛前大廣場の避難所に出沒し西細江町金物商瀨川正藏方にては現金二百餘圓を窃取されたるも刑事の活動に依り直に有力なる嫌疑者逮捕されたり尚中谷旅館にても混雜の際現金六百圓金側時計ダイヤモンド入指環等を遺失したりと發火の原因に就きては目下取調中なるも多分三榮組仲仕寄場ストーブの不始末よりならんと而して損害額も尚不明なるが約五萬圓に達すべしと（門司）

◉悲慘なる唉花丸の最後

十三名行衞不明

十八日門司港外にてチャイナ號と衝突沈沒せる唉花丸は異鍋船長以下十五名乘組居りしが水夫油差の二名救助されしのみ他は孰れも行衞不明なり（門司特電）

◉旅費を騙取す

申宇永辯護士欺かる

咸南北靑郡坪山面西島里李楨性（三九）は外二十四名と共に同里趙弘允外十二名を相手取り山地所有權確認請求訴訟を北靑支廳に提出せし結果勝訴となりたるが趙弘允等は京城なる申宇永を訴訟代理人として京城覆審法院に控訴し李楨性等は被控訴人の當事者として京城に往復したる際實際に於ては李新性、李求澤、李求元、李致性の四名なりしに李在璟、李壽性、李得鎬、李求馥、李永植の五名も同樣鄕里より京城迄往復したるが如く裝ひ申宇永辯護士より九名往復したる證明書を詐取し之れに依りて往復旅費計算書を作製し五人分を加增して百七十五圓四十錢の額面となし内九十八圓を趙弘允等十三名より騙取したること發覺し北靑支廳にて李楨性は懲役五箇月の判決を受けしを不服とし京城覆審法院に控訴したる結果此程前判決を取消し懲役五箇月（二年間執行猶豫）の處分となれり

◉寒氣と降雪

黃海道の交通杜絕

黃海道地方にては去臘二十五日より氣溫低降し新幕地方にては夜間二十五度に下りたる箇所あり列車の機關部注油氷結し軌道の冷却と車輛の空轉に依り各列車共三十分乃至五十分の延著となり山地は積雪海邊は風波の爲め交通一時杜絕の狀態なりしが本月七日兩度烈寒襲來海州にては八日午前五時零下二十度沿岸の流氷の爲め船舶の危險甚しく全州丸は仁川より入港したるも流氷の爲め其儘仁川に引き返し各河川の渡舟は全く杜絕し夢金浦地方にては積雪二尺に達し凍死者一名あり雉の饑死したるもの多數あり十三日に至り氣溫稍引[illegible]

◉錦江全く結氷

稀しい忠南の寒氣

忠南江景地方にては數日來氣溫十八度乃至二十一度の間を昇降し寒威凛烈同地方數十年來の寒氣なりと之れが爲め麥酒瓶、酒瓶、鷄卵、水甕等の氷結破碎したるもの尠からず錦江は全く結氷の結果舟楫全く絕え客臘江景市中の支流に入航したる帆船等は全く河底に氷著し群山方面との連絡杜絕して商取引上大打擊を蒙りたりと市中極めて寂寞鮮人露店等更になく從つて犯罪者の如きも寒威の爲め殆ど皆無の模樣なりと

◉鮮人部落大火

慶南昌寧郡吉谷面谷山里鮮村新月方溫突の焚火より一月七日午後二時頃發火したるを隣家の辛永宇が發見し里民に急報したるより百七十餘名相集まり消防に努めたるも強風且つ氷期のこととて水利の便なく火の手は擴大して遂に十三戸住家十八棟物置小屋八棟合計二十六棟を燒き拂ひて午後六時頃鎭火せり人畜には死傷なかりしも損害約一千百五圓の見込みなり因みに火元なる朴新月は大火となるや姿を晦ましたりと

◉山中に潛伏す

黃海道平山郡新岩面象岩洞尹慶采（六七）は同面屈指の資産家なるより同面芝里洞李東永（二二）内洞申敬均（三二）如珠洞李命鎬（三五）の三名は一月九日午前二時頃慶采方に至り憲兵補助員が巡察に來りたるを以て扉を開けよと告げて開門させ直ちに内房に侵入し起き上りて點火せんとする慶采を麻繩にて縛し棍棒を示して脅迫し現金九十圓餘其他雜品價格六圓餘を強奪して逃走したるが急報に接し瀨川憲兵分遣所にては犯人嚴探中の所自宅或は山中に潛伏しゐたるを發見して檢擧し目下取調べ中

◉慈善事業寄附

鍾路四丁目百十二番地金命基氏は曩に明治神宮に率先して金二百圓の獻金を申込みたる人なるが今年の嚴寒に際し貧民の救助並に慈善事業の一助として金六百圓の寄附を鍾路警察署に依賴し來りたりと云ふ

◉淺墓な女の心

夫を諫めんとて放火

北奈川郡長林面雲石洞崔德周は酒好きにて常に同洞酒幕金鳳儀方に至りて飲酒するを同人妻金德基（三○）は德周に對し禁酒する樣屢々諫めたるも一向に聞入れざるより寧ろ酒幕を燒居せしめんと決心し其の手段として二月三日午後九時頃金鳳儀方の炊事場屋根に放火したるも直ちに家人が發見して消止めたるが金德基は放火犯人として此程[illegible]警察署[illegible]駐在所の手に逮捕されたり

◉流連客は曲者

昨年十二月一日より同二十四日迄山草院[illegible]樂亭に流連し妓生を敵娼として百七十餘圓を費消し遊興せる大盡客ありしが擧動不審の點あるより同廿五日釜山に同行嚴重取調べたる所此者は鹿兒島縣[illegible]郡下金子村當時住所不定大工職藤森通良（三○）と云ひ昨年十月鎭海梅月樓にて約八圓の無錢遊興を爲して同地を逃亡したる事判明せり同人は一昨年馬山鎭城に於て懲役八箇月に處せられし前科者にて昨冬釜山の數箇所にて窃盜を働きたる事實露顯し釜山地方法院に於て公判に附せらる（釜山）

◉實父に訴へらる

全州大和町李聖伯長男全州郡上關面新里李贊浩方雇人朴正植（三二）は父聖伯が元全州郡府東面一契金局西などより建物所有權保存證明申請書並に土地所有權保存證明書を預り居りたるが客年四月中旬父聖伯が急用にて全南珍島方面に旅行する事となりたれば其際該文書を被告に嚴重保存すべしとて渡したるを奇貨とし直ちに該文書を携へて大和町長沼秀三方に赴き文書面通りの土地建物を擔保として貸金を迫り昨年七月三日金十五圓を騙取したる事露見したれば父聖伯は非常に憤り向後の懲らしめにと自ら全州署に訴へ出でたれば去る十七日取調の上身柄は直ちに檢事局へ

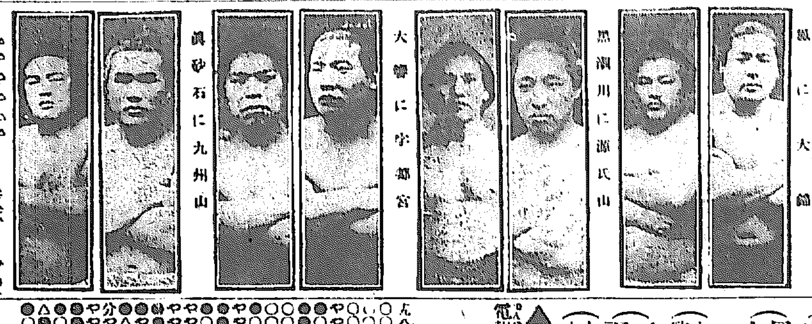
◉書畫試筆會

長谷川町書畫研究會にては既報の如く十八日午後六時より長春館に新年試筆會を催[illegible]

●『悲慘なる一家』へ　鷺島の『悲慘なる一家』へ對し京城壽町居住の田部某氏は一月十五日同地憲兵派遣所の手を經て金五圓を寄贈したりと

●給仕募集　京城地方法院にては給仕若干名を採用す尋常小學校卒業以上の少年にて希望者は同法院庶務係に就いて照會すべし

好取組＝九日目



春場所

（十九日午後十一時著東京支局至急電報）

▼七日目

勝　負
國見崎 分 山櫻　成瀨山 か 手柄山
花の山 よみ 錦西山　八幡山 ひき 大岬
玉柳 なげ 玉手柄　福柳 ひき 大の里
荒岩 常の花　藤の川 なげ 外ケ濱
明潮 鳴門洋　玉の川 とり 琴ケ浦
駒泉 つき 千葉崎
朝綠 分 若島　稲の穗 ひき 敷島
宮城山 だし 紅葉川　眞砂石 よみ 小常陸
源氏山 つき 玉手山
黒瀬川 したて 兩國
伊勢濱 だし 岩木山　太刀山 はなし 梅川

中入後
一港より土州山　釋迦嶽なげて八甲山
逆鉾 たほし 浦の濱
宇都宮 だし 石山
栃木山 はなし 大戸平
大錦 大響
鳳 こてなげ 九州山

▲九日目の取組

（琴ケ浦 稲の穗）（千葉崎 明）（岩島 藤の川）逆鉾 鞍島
（土州山 釋迦嶽）（紅葉川 常の花）（石山 岩木山）
大響 眞砂石　浦の濱
宇都宮 九州山　栃木山
大錦
鳳
中入後
（八甲山 駒泉）（鳴門洋 一湊）黒瀬川 源氏山
玉手山（大戸平 宮城山）
兩國（太刀山 小常陸）（伊勢濱 梅川）

▲手捌き電報不著　手捌き電報不著に付き二十日夕刊に掲載せず

◉國技館大相撲春場所成績表

（○勝●負△預×分）

東の方

鳳	○	○	○	○	○	○	○	○
伊勢	○	○	●	○	○	●	○	×
太刀	○	○	○	○	○	○	○	○
朝潮	や	や	や	や	や	や	や	●
大戸	●	○	●	●	●	●	●	○
玉手	●	●	●	●	●	●	○	●
黒瀬	○	○	●	●	○	●	○	○
眞砂	○	○	○	●	○	●	○	●
大響	●	○	○	●	●	●	○	●
鶴渡	や	や	や	や	や	や	や	●
石山	●	●	○	○	●	●	●	●
浦瀬	●	○	●	や	●	○	△	●
千年	や	や	や	●	●	●	●	○
大鳴	や	や	や	○	○	や	△	●
紅葉	●	●	○	○	○	○	●	○
土州	●	や	や	○	や	●	●	○
鞍島	●	△	○	●	○	●	○	●
若島	分	や	や	や	や	●	●	△
相戸	や	や	や	や	や	や	や	○
千葉	●	●	△	○	○	○	○	○
琴浦	●	○	や	●	●	●	●	●
鳴戸	△	●	●	●	○	●	○	●
八川	●	○	●	●	●		○	○

勝星 六十七　負星 七十二　一

西の方

對馬	や	や	や	や	や	や	●	●
西海	や	や	や	や	●	○	○	○
大錦	○	○	○	○	○	○	○	○
栃木	○	●	○	○	●	○	や	○
兩國	●	●	○	○	○	●	●	○
九州	●	●	○	●	○	○	○	○
宇都	○	●	○	●	●	●	△	●
小常	●	●	●	○	●	○	○	○
鞍川	や	○	や	や	や	や	や	×
源氏	○	●	●	○	●	○	や	●
嶽ケ	や	や	や	や	や	○	○	●
岩木	●	△	●	●	○	○	○	●
梅川	●	●	○	○	○	○	○	●
釋迦	●	●	○	○	●	●	●	●
宮城	○	●	○	○	○	○	●	○
逆鉾	○	○	や	○	○	○	○	○
近江	○	○	△	●	○	○	○	○
諸盤	や	や	や	や	や	や	や	や
一遊	や	や	や	●	●	●	●	●
駒泉	○	○	●	○	○	○	○	○
四海	○	●	●	○	○	●	○	○
大門	や	や	や	や	や	や	や	や
關門	や	や	●	●	●	○	△	休

勝星 六十三　負星 六十三　一

▲昨秋京城に來た忽滑谷快天老師が主筆となつて月刊雜誌『達磨禪』が出來たそして『末世不純の野狐禪を絕滅し本源の純一達磨禪を擧揚するものなり』とある▲鐵道局の安藤參事は道回またく／＼露文の金剛山案内を印刷した五六月頃には浦鹽哈爾賓はもとより歐露の露西亞人を案内する積りださうな▲近頃は雪掃除の行屆かぬ道路を人馬が往來するので表面は恰も擦硝子のやうになつてゐる▲靴でも下駄でも又草履でもこれには大閉口本町通りでは每日のやうに令孃が倒れる車夫が膝をつくといふ有樣▲滑稽にも氣の毒だつたのは三坂通りの坂路で十九日の朝車を曳いた大牛が數回轉んで辛つとのことで登つて居つた▲夜などは酷く辷つて怪我するものもある特に氣の毒なのは小さな小學校生徒の往復である▲各戸では切めて自家の前だけでも灰を撒くのが公德の一端であらう、

◉青島と生牛

▲輸出禁止の提唱　山東牛[illegible]加の結果省内耕牛の濫盡となり遂に省内農業に於て一大恐慌なりと憂ふる[illegible]

▲日本能く買ふ　[illegible]三倍の騰貴率を以て盛んに輸出され殊に先月中に靑島口のみに輸出せら[illegible]

▲△の省内　[illegible]勿論省内に於ける耕牛の畜養狀態及び其頭數或は其繁殖等を研究せ[illegible]著し居り此内彼地に於て發病せしも[illegible]

▲牛の斃死續出　[illegible]同國義勇艦隊所屬汽船第一回入港以來濟南方面より青島に輸送し來る生牛は殆んど每日の如く斃死[illegible]は他の四頭は十二日撿疫の上燒却したるが該疫は内症にて其病根は解剖の上ならでは發見し能はざるを以て取扱上最も其困難を覺ゆと某獸醫官は語り居れり（青島）

京日案内

購買入札　白米 二百三十石　大豆 四百九十五石　玄米 三百石　右購買ス詳細ハ大正六年一月二十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　大正六年一月二十日　朝鮮總督府

普通 一回前金五十錢　番外 一回前金一圓　▲申込後中途掲載中止の節は前金返戻せず

小僧三名至急入用　但年齡十四歲より十七歲迄　本町通明治町角　ツムラ人參部 68

▼古本と古樂器買受は絕大の信用有る　本町二●電二五二七●ウツボヤ書店 39

●讓店　學校の前にて有望なる文房具店都合により至急讓渡したし（姓名在社）69

●電話至急讓りたし　御用の方は下名へ　西四軒町一四一　宮崎 71

●十六歲迄化粧品製造徒弟二名入用　市内に保證人二名を要す（姓名在社）

●解雇店員一番ケ瀨勝部台に係るも當店とは關係無之候也　龍山漢江通三巴商會支店　電三八 66

●商年中羅南出張致し居候處今般歸京仕候間舊倍の御引立願上候　永樂町一　電一八七六　網島表具店 65

多忙なる雜貨店に確實なる根場一名至急入用（姓名在社）57

有給外交員募集　希望者履歷書携帶本人來談　日本生命京城出張所 60

●古本熱心高價買入▲御報參上　●非御試賣を乞　▲本町四　電話二七八一番　▲書肆耕書堂 58

●看護婦二名見習五名採用す　志望者は來院の事（仁川佐藤病院）59

雜貨店讓りたし　京城府北米倉町百四十番地　津坂商店 70

●京城春川間自動車賃金片道四圓　每日午前八時卅分出發　京城南大門通一丁目　廣橋自働車組　電話二一九番　主務 金正淵 4

年金恩給 特別長期 即時 全額立替 極秘　京城永樂町一丁目　▲併金錢　商品陳列館表門前下角　江州屋本店 16

恩給年金長期即時　立替月利壹步二厘五毛　三年迄無保險　京城南大門外　西鮮支店京義線沙里院　山口屋　廣川商店 24

財産利殖の最良法（金融の近道）株式相場の素養ある富豪又は資力家の財利殖係に招聘せられたし（姓名在社）33

皮膚病 黴毒淋病 專門　京城明治町二丁目（元昭町）看護婦入用 見習看護婦　佐藤醫院 46

讓店　本町目拔の場所有名老舖商品全部居拔のまゝ大至急讓渡す　希望の方は左記へ御來談あれ　京城明治町　周旋業 萬年社　電一八四四 54

本年の大寒には 定評ある當店の 防寒靴 御使用あれ　京城本町二丁目　日東商會　電話二二一○・振替一二一九

▲山縣五十雄 村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢 郵税二錢　京城太平通 振替三○○番　京城日報社代理部

賛化病院　京城本町二丁目　電話二四二番　內科 小兒科　入院隨意　無料施療す 毎日五名を限り　醫學博士 古城憲治　醫學士 上野亮藏

人蔘精 人蔘　土産品　本町二丁目 [illegible]

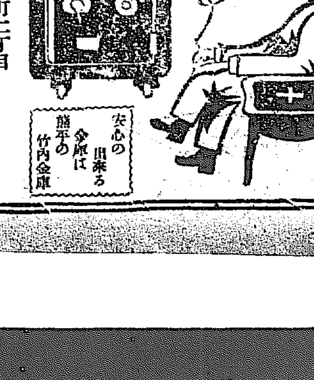
醫學博士 前田珍男子御賞讚

[illegible] 代用版 [illegible] 東京科學[illegible]製版所

寫眞出張撮影　寫眞銅版・亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て最も迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に應ず　京城日報社 寫眞製版部

東京內藤新宿　大日本種苗株式會社　種苗代價表呈　農用種子　果樹苗木　園藝植物類　山林用材樹種　農具農書雜貨類

ベントン式金庫　安心の出來る金庫は熊平の竹內金庫　京城本町二丁目　熊平支店　電話六二四番　振替京城三二三番



怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

五十四

死神「十二」の四

と、銀さんは、舌舐りを爲ながら憲吉の顔とお久の顔とを、怪訝さうに見比べ始めたが、軈て盃をがちんと音するやうに膳の隅つこへ置きつゝ「したがね、姉さん、然う一概に我鳴り付けたもんでもねえね。憲坊だつて十六と云ひや、もう世間の義理人情だつて辨めねて來る年頃だよ。父子一生の永訣を眞の娘に知らせてやらねえと云ふのは、こりや些つとばかり姉さんにも似合はねえ計ひと云ふもんだらう世。俺も何方かと云ひや、先づ憲坊の方へ賛成したいような氣が爲るね。」

『厳談ぢやないよ、銀さん、お前さんまでが、そんな人間並の事をお言ひなのかね。妾だつてそりやお前さんその位な人情は無い事はないんだけれどもね、何を言ふにも、彼の綱代はお前さん、先方樣から何か理由があつて、お暇でも下さる時節があれば格別、此方からは、縱令何のやうな事があつても、音信不通と云ふ契約で、云はゞまあ、一生奉公に上げてあるやうなもんなんですもの、迂濶にこんな事を知らして遣る譯にや行きや爲ないわね。それにね、病氣か何かで蒲團の上でゞも死んだのならまだしもだが、此の淺猿しい死態を彼の子に見せて遣るのは、反つて悲歎の種を殖やさせるやうなもんだからね、當今の所は、何にも知らして遣らない方が、眞の慈悲と思つてるんです。」

お久は、飽まで拗へ付けるやうに自分勝手の道理を引付けて、付うしても、男爵邸へ行つて居る綱代に、父親の非業を知らせて遣るまいと抗ふのであつた。

「そりやまあ、言つて見りや、そんなもんかも知れねえけれども……」と、銀さんも長い物には巻かれろ主義で、それ以上は別段強い事は言はずに了つた。

憲吉は、尚更叱られたなりに小首をスツ込めた儘であつたが、若い血氣の心にも、母親の言ふ所は、甚だ人情に反いて居ると思ふので、何處までも承服の出來がたい顔付を爲て、じろ〳〵とその顔を見て居た。

左右する内、雨は段々本降になつて來たらしい模樣で、何ぼ日脚が短かいと云つても、まだ暮れ切れぬほどの時間でもないのに、棺桶の前の蠟燭の灯が、際立つて光の力を增して來たと同時に、狹い陰氣臭い家の中に、宛然夜の色彩の中に沈められて來たのである。

「姉さん、電氣が莫迦に遲いやうだが、何だか變手古に心持のわるい日だね。」

「銀さん、お前さんも然うお思ひか。妾も何だか、お酒を飲めば飲むほど、氣が竅の奥へ引込まれるやうでなりや爲ないんです。鳥渡憲ちやん、お前、その電氣の栓を捻つて見て御呉れな。」

「なあに、捻つて見たつて、阿母さん、まだ電流の來てる時間ぢやありませんよ。」

言ひながら憲吉は、不承々々に起つて、電氣の栓を捻つては見たものゝ、電流の來る來ないよりは、肝腎の電球の線が、何時切れて居たのか全く効用を失なつて居たのである。

「阿母さん、駄目ですよ。此の電球は、線が切れてるんだもの。」

「おやまあ、困つちまうね。それぢや何事を措いても、お前に一走り出張所まで行つて來て貰ふより仕方がない。」

「鬱かせやがるな、出張所まで雨の降るのに……」と、憲吉はぶつくさ口小叱を言ひつゝ、傘をかざして出て行つたのである。

後は云ふまでもなく、お久と銀さんと、棺桶の中の亡者との三人鼎座であつた。何處へも知らせないのであるから、固より人の訪ひ來べき筈もなかつた。刻一刻に淋しい雨の夕暮の闇が、濃く厚く成りゆく中にぼんやりと浮き出たやうな棺桶の形が、とぼ〳〵と瞬く蠟燭の灯影に連れて今にも搖ぎ出しさうと見ゑたのである。

『姉さん、濟まねえが俺は、氣味がわるくツて堪らねえから、是で御免を蒙りたいね。』

銀さんは、餘程良心に言ひがたい苦痛のあるらしい景色で、ぶる〳〵ツと身顫ひを爲ながら言つた。

お久の眼は、瞋れる猫の如く變つた。

京城本町二丁目 千代田號印舖は「電話九八七番」「振替九八七番」に改め

毛皮なめし並に仕立 鳥獸剝製調進販賣鳥毛類高價買入れ 萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本 京城本町二丁目 樽元商行 電話長二〇六五番 振替京城三四九九番

●青島敵人取締

青島殘留の獨墺人に對しては今日迄も充分取締を勵行し來りし由なるが最近多人數集合して何事をか會議したる等の事例もあり一層取締を嚴にして萬遺憾なきを期すべく獨墺人取締規則發布の筈にて近く事實に現はるべきが内容は彼等の去來を監視し宗教上の會合の外一切の集會は其都度官憲の許可を得せしむべく又不動産は勿論物件の賣買にも一々許可を必要とせるものなりと(青島)

●蒙古の新年

蒙古のお正月は勿論陰暦だが特に二月をチヤガン、サラ(白い月)と呼ぶそして特種の風習によつてお正月を迎へるのは蒙古と云つても興安嶺を境界線とする外蒙古と内蒙古の一部に過ぎない此の地方は三面行つては一部落五里行つては一部落と云ふ樣に僅か四五軒散在して居るのだが其の家屋は恰度籠を伏せたやうに竹を組み合せたものでそれに厚い毛氈を張り其の上を馬の毛で綴を作つて白紙の切つたのを吊り入口の上に揭げるさうして女は支那綴子の美服を男は毛皮で作つた晴れ衣を著け元日の朝觀音菩薩に羊の頭と足とを供へて胴體を揚物にして食ひ酒を飲んで謠ふやら舞ふやらして新春を歡ぶのださうな

□蕪村忌(俳諧散心第廿四回) 成朝翁勸進

朝餉の間燃ゆる爐火や蕪汁
皆の心に冷たさありぬ蕪汁 田打夫
季香やとこと谷へ落る雪
參禪の女ほゝゑむや蕪汁 青丘
早發ふ客に焚く火や山眠る
政令の屆かぬ村や山眠る 綠亭
若地藏倒れ給ひし山眠る
誓沓のおもし〳〵と漁夫濱に歩す
城隈に熊手捨てあり山眠る 木雨
冬の山富士の麓の工場哉
誓深く父の綱貫はきにけり
柱黑々と土間に渇れし響の沓 友春
貧に居て病妻に蕪勸ぎけり
訪へは畑に聲して蕪の月
毬くはへ逃げし犬追ふ蕪畠
蕪の葉を啄み去りし鷄疾し 耕伯
蕪畠に塔の影ある寺領かな
寵の鶯罐に暗し厨の灯

▲來る廿二日(月曜)より二週間毎夜奉行會も、第一日は田打夫居にて、癸合隨意

新刊紹介

▲第三帝國(新年號) 婦人雜誌『女王』を合併し大陸新人道主義婦人問題男女問題を取扱へり中にも新人道主義とは何ぞや『石田友治』新文明の曙光ロイド、ヂョージズム『福田德三博士』文明史上に於ける人道主義の發展『五來素川』新人道論『鳴來博士』人道主義と獨逸文明の哲學的精神『高木敏』露西亞文明に於ける人道主義の發展『昇曙夢』入道上より見たる歐洲戰亂と講和問題『長瀨鳳輔』速かに講和すべし『深山久雄』日本と英國の政變『田川大吉郎』入道てき專制國の末路『鎌田榮吉』人道上より見たる最近の刑政問題『大場博士』日本に人道教育なし『向軍治』說明にして積極的なるロイドヂョーヂ『内ヶ崎作三郎』徹底せる人道主義者トルストイ『安部磯雄』北米に於ける黑人の使徒ブーカー、ワシントン『我が同胞婦人に訴ふる罪人の話トルストイ『我が同胞婦人に訴ふ』『女主義』英米婦人運動發展史『高野重三』露西亞に於ける婦人解放運動『西川松子』入道問題としての婦人問題『宮田脩』エレン、ケーの兒童教育論『山田わか』基督教と邦樂『日向きむ』ロマン、ローランの『戰爭を超越して』を讀む『高安月郊』ハウプトマンに與ふる書『ロマンローラン』我が評論家諸子に與ふ『土田杏村』或る母へ『ドストイエフスキー』冬の歌『奧野信太郎』詩『山村暮鳥』『山村暮鳥』野晶子』詩『山村暮鳥』等時代に適切にして健全且有趣味なる記事に滿てり尚本誌は今後二回發行を一回に纏め毎月一日發行すると(特價十二錢東京本郷臺町三共社)

▲法學新報(新年號) 捕獲審檢所の準據法『立博士』醫師と法律『花井博士』手形說『松本博士』延期論『大場博士』農村の振興に就て『河津博士』等の論說を初め問答には東博士の犯人から犯罪の密告者なる旨の公然たる摘示と訴訟事件外數件あり其他判例批評時論雜錄等悉く法律研究の好資料(二十五錢東京市神田區錦町三の二法學新報社)

▲新布教(新年號) 本號は聖德太子奉讃號と稱し研究には聖德太子と日本文明『大隈侯』以下十四篇を滿活に下十一篇を網羅し頌仰には廐戶皇太子の理想『佐伯大僧正』以下十一篇を網羅し頌讃には『藏津永平寺貫首』以下十名の牧師猶樹に於ける聖德太子『加藤博士』は倫理的宗教的に以下十七條を詳說し上下和睦章より十七章大事獨斷章に至る迄南條博士外十六名一章一人の講話を載せ更に覺樹の名に背かず(特價三十錢京都市東六條中珠數屋町烏丸東入る法藏館)

▲科學世界(新年號) 火藥爆藥の原料と化學工業『高松豐吉』眞の絹と人造の絹『荻山衛平』コロイドの工業的用途『井上信理』人類の口に入る昆虫類『桑山茂』藥用植物及び其栽培法『友田三郎』及眼の缺點の遺傳、自動街路掃除車、北極探檢と飛行機、衣服の原料の話等興味共に備る(二十五錢東京市本郷區湯島四の八共社)

▲碁界新報(新年號) 岩佐六段都谷林三段等の繼變の術手筋の妙趣布石遊解名手の苦心等を初め對局數面其他を收む(二十錢東京市牛込區下宮比町六共社)

煩悶ある人は來れ

▲人は始終幸福とばかり一緒に歩む事は出來ぬ不時の災難、事業の失敗、家業の煩累、學業不成績、失戀精神や身體の過勞等の事が兎角起つて來る性がある。

▲但し幸ひにして人には通有の忘却性がある。親や子に別れた深い悲哀さへも時と共に次第に薄らいで行く憤怒や侮辱等の劇しい感じでさへ其劇しさを其儘に何時迄も感じては居らぬ。段々と弱められ、稀薄になり遂には其感じは全然消ゑて終ふ。

▲之は人間に通有の誠に有難い忘却性である。若し人間に此通有性が無く何時迄も其時の强い劇しい感じから離れられなかつたら、人は兎ても壽命を全うする事は出來ぬ。

▲此人間の忘却性の恩みに浴し得ぬ人が即ち煩悶する人である。斯う言ふと稍や輕々しく聞ゆるかも知れぬが煩悶ある人は先づ熟考すべきである『斯迄自分が煩はされ、悶はせるのは、其煩悶の原因たる事柄が强いのか、其事に臨む自分が弱いのでは無からうか精神や身體が病的なのではあるまいか?』と

▲斯う考へると能く分る。精神的に言へば心に少しも沈著が無い。物事に少しも興味がない。實に些細な事が氣に懸る。疑ふ餘地の無いことを疑ふ。書物等の一行一節を何度繰返して讀んでも意味が朦朧して纏まつた思考力が無い。

▲今度は之を肉體の方面から見ると兎に角頭痛勝で又頭が重い。食氣が無い、活氣が無い、體を動かすのも面倒臭い、便通が惡く、逆上、眩暈、耳鳴抔を感じ、不眠に陷り惡夢に襲はれる

▲斯く精神と肉體の方面から見て今言つた徵候があるなら全く煩悶の結果腦又は神經に故障を起したものである捨て置けば大事に立到る而して煩悶は永遠に救はれる期がない

▲煩悶ある人には健腦丸を用ゐるのが第一の救濟法である、何故といへば健腦丸は腦の故障を快くするのに最も有効である上に前言つた煩悶者は則ち神經の平衡を失つた人は用て神經の鎭むるの効が著しいからである

▲斯くて健腦丸を用ひて腦の故障を治し神經の平衡を得たなら、既に煩悶から斬脫ける根本の準備が出來たのである其明快な頭腦と健全な神經とを以て事に方れば、好い解決を得るに庶幾い

▲健腦丸は世に信用厚き大阪丹平商會藥房の製で、島村醫學博士は其有効を證明されてゐる、藥價は四回分廿錢、七日分七十錢から十週分五圓迄あつて全國到る處の信用ある藥店に販賣せり

惚れさせるまで

「人心收攬術」 大好評忽ち壹萬部賣切れ十版出來

『妾はアナタに一度お目にかゝつた以上は、アナタがいくらお嫌ひ遊ばしてもキツト惚れさせてよ……』どんな無粹なお客でも、タツタ五分間會ひさへすれば必つと無我夢中に惚れさせて見せる。必つと『惚れさせる』秘訣を詳しく書いたので著者が藝者だからと云つて世間にありふれた界俗なものではない、讀む人の心次第では著者が十五年間の經驗より會得し得た花柳哲學を基礎として、何人にもスグ應用の出來るように面白く書いた『人心收攬術』である、之を男が應用すれば女が惚れる、政治家が應用すれば六千萬の國民が惚れる、勤め人が應用すれば立身出世は思ひの儘に出來る、殊に花柳界其他直接客に接する商賣の人々はこの『惚れさせる』秘訣を會得すれば其日から思ふまゝの繁昌は疑ひなし、殊に新發見……握手法……は誰れでもスグ應用が出來るこの不思議の握手法は異性者間のみでなく、同性者間に用ふれば其交りを温かにする事奇妙々々

梅藤田玉子著 ポケツト形天金附特製 正價參拾五錢 送料四錢

●發行所 東京本鄉區森川町 振替一三六四〇 國民タイムス社

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七 九二〇九番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番 五八〇番 振替貯金口座京城八一四四番

同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

天下無敵 資質の拔群! 能力の卓越!

森永ミルクキヤラメル

森永製菓株式會社 6—2

味噌の横綱 ほまれみそ

金泉醴泉間自動車時間

上り	一番	二番
金泉發	前八、三〇	—
龍宮發	九、三五	—
咸昌發	一〇、二〇	—
醴泉着	一一、一〇	—
尙州發	後一、三〇	—

下り	一番	二番
金泉發	前八、〇〇	後三、〇〇
尙州着	九、五〇	四、五〇
尙州發	—	五、〇〇
咸昌發	—	六、〇〇
龍宮發	—	六、四五
醴泉着	—	七、四〇

▲小荷物運搬仕り候

金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

大邱浦項間自動車發着時間

上り	一番	二番
浦項發	前六、三〇	後〇、三〇
安康同	七、一〇	一、一〇
慶州同	八、〇〇	二、一五
阿火同	九、〇〇	三、一〇
永川同	九、三七	三、三七
河陽同	一〇、三七	四、三七
大邱着	一一、四〇	六、一〇

下り	一番	二番
大邱發	前六、三〇	後〇、三〇
河陽同	七、四〇	一、四〇
永川同	八、三〇	二、三〇
阿火同	九、二五	三、二五
慶州同	一〇、一五	四、一五
安康同	一一、〇〇	五、一〇
浦項着	一二、〇〇	六、一五

大塚農場自動車部 浦項 電話七番 大邱出張所 電話一一七番

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行
○立神丸 一月 日後五時出帆
○小倉丸 一月 日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行
○立神丸 一月 日後十時出帆
○小倉丸 一月 日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
○第三衆平丸 一月 日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
○第三衆平丸 一月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天草丸 毎月二、九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

日本郵船仁川出帆

大連行、秦皇島行
○三河丸 二月十日正午出帆
淡路丸 一月廿一日正午出帆
高砂丸 一月三十一日正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

共同汽船仁川出帆

關東都督府命令船
○芝罘、大連行
共同丸 一月 日入港 一月二十日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候 大連にては南滿鐵道線各驛と連絡輸送御取扱可仕候
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店 南大門(電話二六八・二〇七) 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

大阪商船仁川出帆

○外航路所属遠洋航路を除く 間連絡切符は乗船の時は五分間を以て連絡切符發賣仕候
○郡山、神戸、大阪行
×濟州丸 一月廿五日午五時出帆
○群山、木浦、釜山、廳門、神阪行
×天智丸 一月廿八日後五時出帆
×安東丸 一月 日
◎神戸大阪行
大信丸 一月十九日正午出帆
○木浦、釜山、群山、鎭の浦、長崎行
×信濃川丸 一月廿一日正午出帆
×信濃川丸 二月三日後二時出帆
○群山、釜山、横濱行
臺南丸 二月 十日後二時出帆
湖南丸 二月十六日正午出帆
大連行
×信濃川丸 一月廿八日正午出帆
×大連丸 二月五日正午出帆
○淸津、汕頭行(元山出帆)
▲印 城津西湖津ニ寄港 新潮不寄港
▲安平丸 二月三日後十二時出帆
▲宮島丸 一月二十日
○木浦、釜山、陵戸、大阪行
大智丸 一月 日正十二時出
天智丸 一月 日
○上海、北陸、打狗行(大連出帆)
湖北丸 二月八日前六時出帆
基隆丸 一月廿六日後四時出帆

御注意 ◎印朝鮮鐵道及滿洲鐵道會社と船の連絡切符發賣仕候 ●御乘船客は本船出帆一時間前迄に御來社ありたし ×印は一等船客御斷り △印は船客御斷り

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番二五〇番五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番
中國四國九州行は鮮內各驛に於て直通切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆

○京城丸 二月 四日
○全羅丸 一月廿三日
○京畿丸 一月廿九日
○黄海丸 一月二十日 釜山發
○咸鏡丸
門司より釜山各港寄港基間航路
○咸鏡丸 一月二十日 元山發
○昌平丸 一月二十八日
○慶城丸 一月廿六日 元山發
○鎭城丸 一月廿四日
元山より各港經由雄基行
○昌平丸 一月廿五日 元山發
中底寄港長箭行
○盈德丸 一月二十日 釜山發
甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行
○江陵丸 毎日 釜山發
○寶城丸 浦項發
長生浦方魚津寄港
○三浦丸 一月廿二日 釜山發
長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港
○海州丸 ○巨濟丸 毎日 釜山發
○統營丸 ○慶寶丸
各港經由麗水行三日目一回木浦行
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發
各港經由麗水行麗水より釜山行に接續
○慶興丸 一月廿七日 木浦發
各港經由濟州島行西廻
○慶興丸 一月廿二日 木浦發
南多島、海列島行(月三回)
○公州丸 一月廿一日 木浦發
各港經由濟州島行(東廻)
丸 月 日 仁川發
海州池各港經由、鎭南浦行
○江原丸 一月二十日 仁川發
芝罘、大連、青島行
○麗水丸
○晉州丸 一月廿二日 仁川發
各港經由木浦行
○全州丸 一月廿七日
○錦江丸 毎日午前 仁川發
江華島、桐島、海州行

本社 京城南大門驛前 電話長一九五二番二二二三番
鐵道各驛並に支店代理店には荷客取扱店に御照會願候
京城荷客取扱店 松原運送店(電話長一七〇番)

商況

大阪三品特電

	四月限	五月限	六月限
	一八四、〇〇	一八三、七〇	一八三、五〇
	一八四、〇〇	一八三、九〇	一八三、六〇

大阪期米(十九日)

仁川期米

	付	高値	安値	止め
	一六、一九	一六、四〇	一六、一八	一六、四〇
	一六、三七	一六、六三	一六、三七	一六、六〇

▲更に強硬 [illegible]

▲後場の手振 [illegible]

▲⊕能く賣る [illegible]

▲⊕能く買ふ [illegible]

▲⊕能く買ふ [illegible]

▲現物界 [illegible]

十九日の三月限 寄付 一二圓九十六錢 止 一二圓 [illegible]